

株式会社タムラ製作所

2021年3月期 第2四半期決算概要

2020年11月12日



TAMURA

Your One and Only Company

1. 2021年3月期 第2四半期決算概要
2. 2021年3月期 通期業績予想
3. トピックス

【付録】参考資料

1. 2021年3月期 第2四半期決算概要

- ◆ 新型コロナの影響による需要低迷で減収ながら、コスト削減などの取り組みを推進し最終黒字を確保。
- ◆ 中国市場がいち早く回復し、電子部品や電子化学材料は1Qをボトムに回復基調で推移。

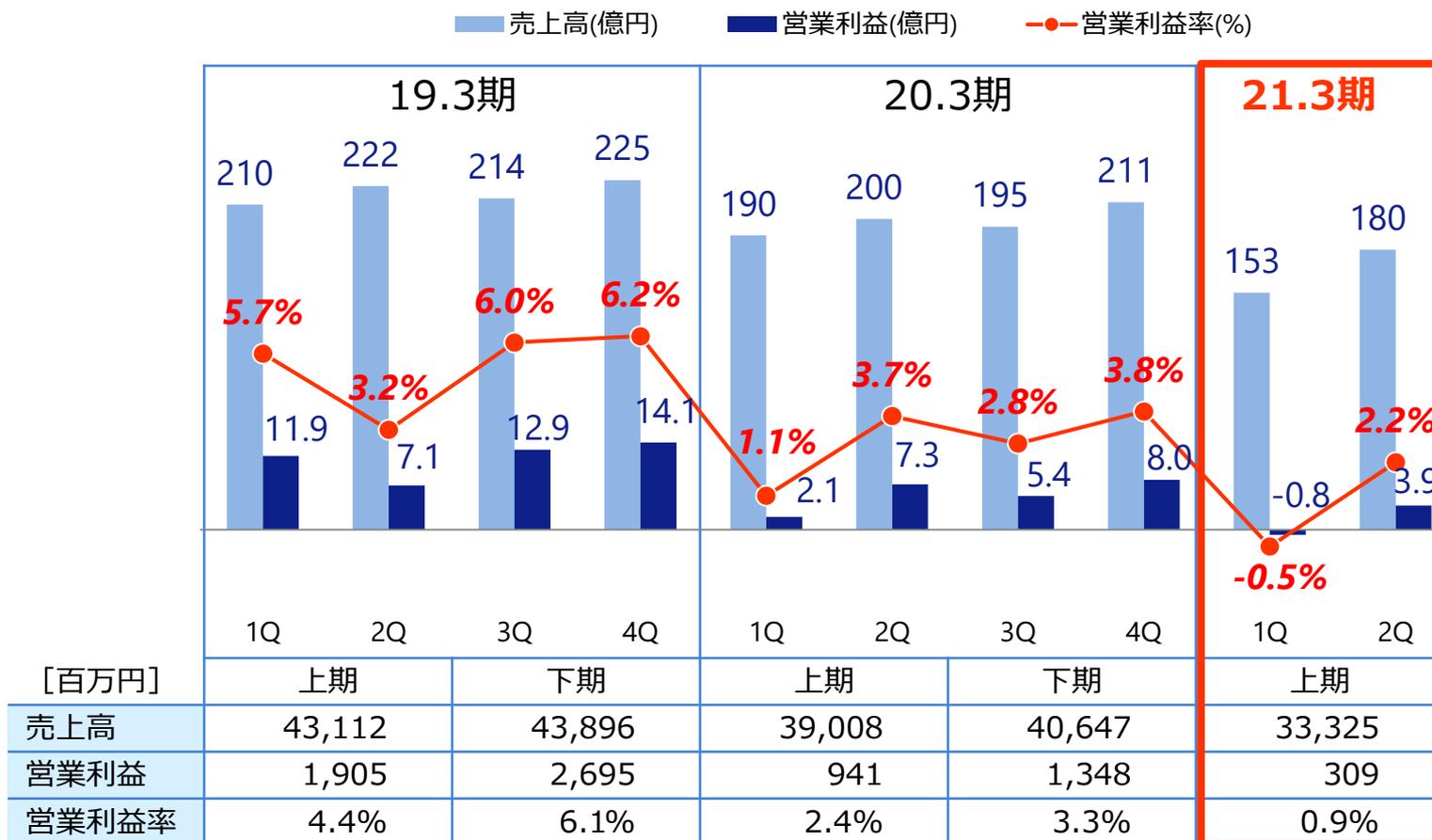
[百万円]

	2019-2Q			2020-2Q			2020-2Q	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	直近予想	期初予想
売上高	39,008	100.0%	▲9.5%	33,325	100.0%	▲14.6%	33,300	34,300
売上原価	27,807	71.3%	▲9.5%	23,658	71.0%	▲14.9%	-	-
販管費	10,258	26.3%	▲2.1%	9,356	28.1%	▲8.8%	-	-
営業利益	941	2.4%	▲50.6%	309	0.9%	▲67.1%	300	50
経常利益	1,039	2.7%	▲46.9%	458	1.4%	▲55.9%	450	50
親会社株主に帰属する 四半期純利益	766	2.0%	▲48.7%	27	0.1%	▲96.5%	20	△300
為替 (円/米ドル)	期中平均	108.34	▲0.50pt	106.83	▲1.51pt	-	-	-
	期末	107.92	▲5.65pt	105.80	▲2.12pt	-	-	-

注： 直近予想は2020年10月22日に公表

四半期別の売上高・損益

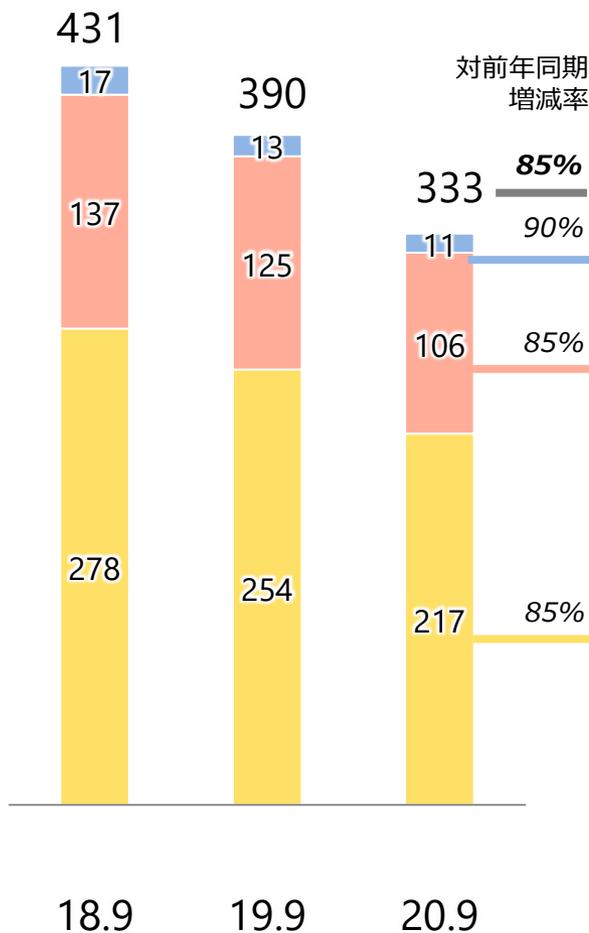
- ◆ 1Qは中国をはじめとして世界各地の新型コロナ対策による事業活動の規制で、売上が急減。
- ◆ 2Qは中国市場が牽引し増収増益。自動車関連市場も底を脱し、スマートフォン関連も増加。



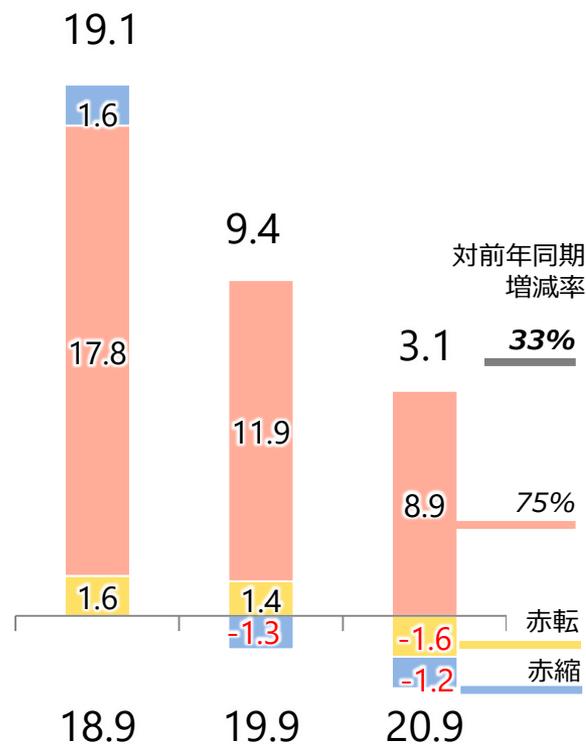
事業部門別の売上高・損益

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

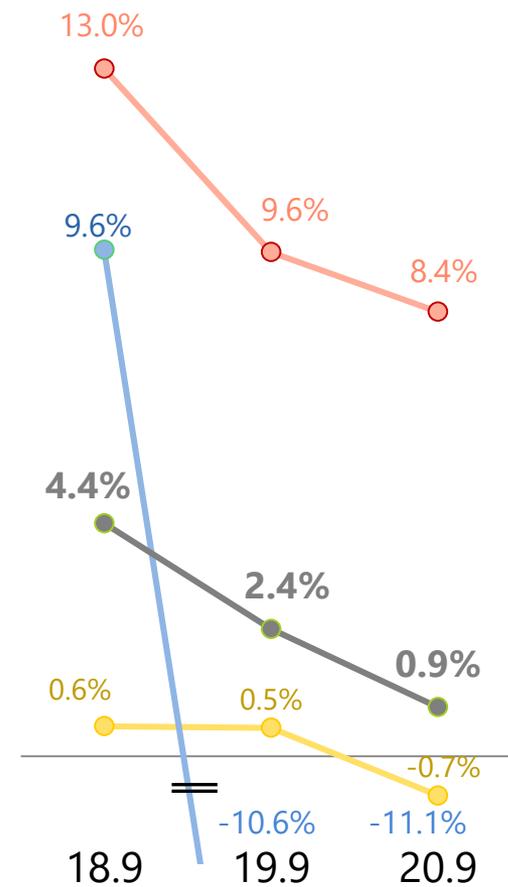
売上高



営業利益



営業利益率

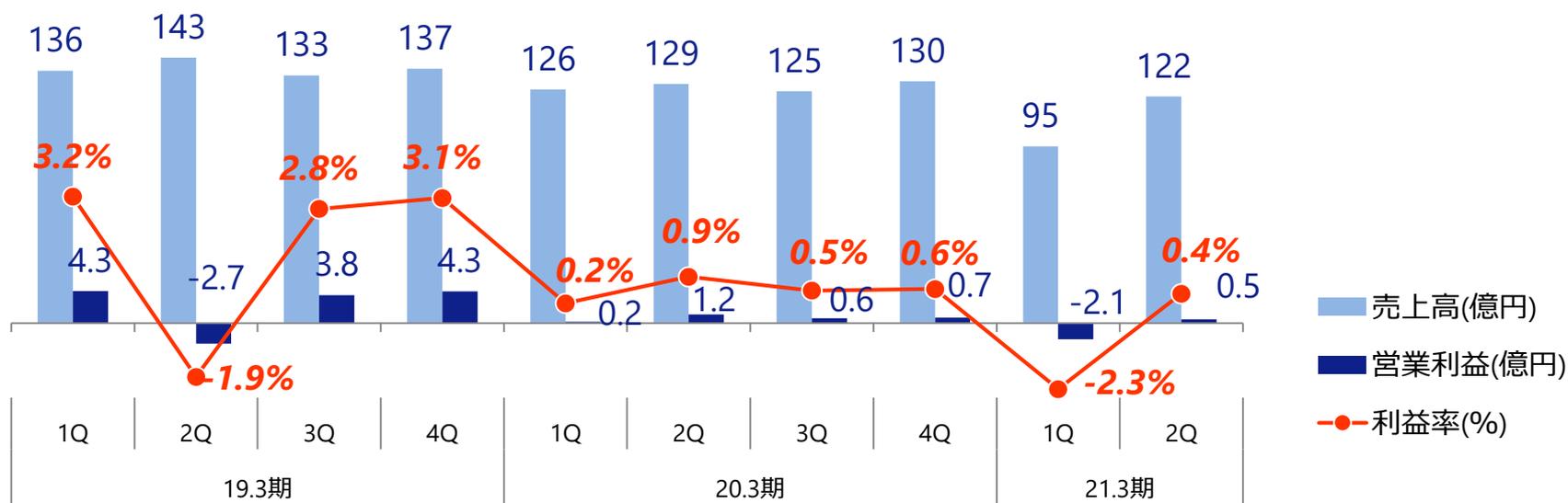


注：連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

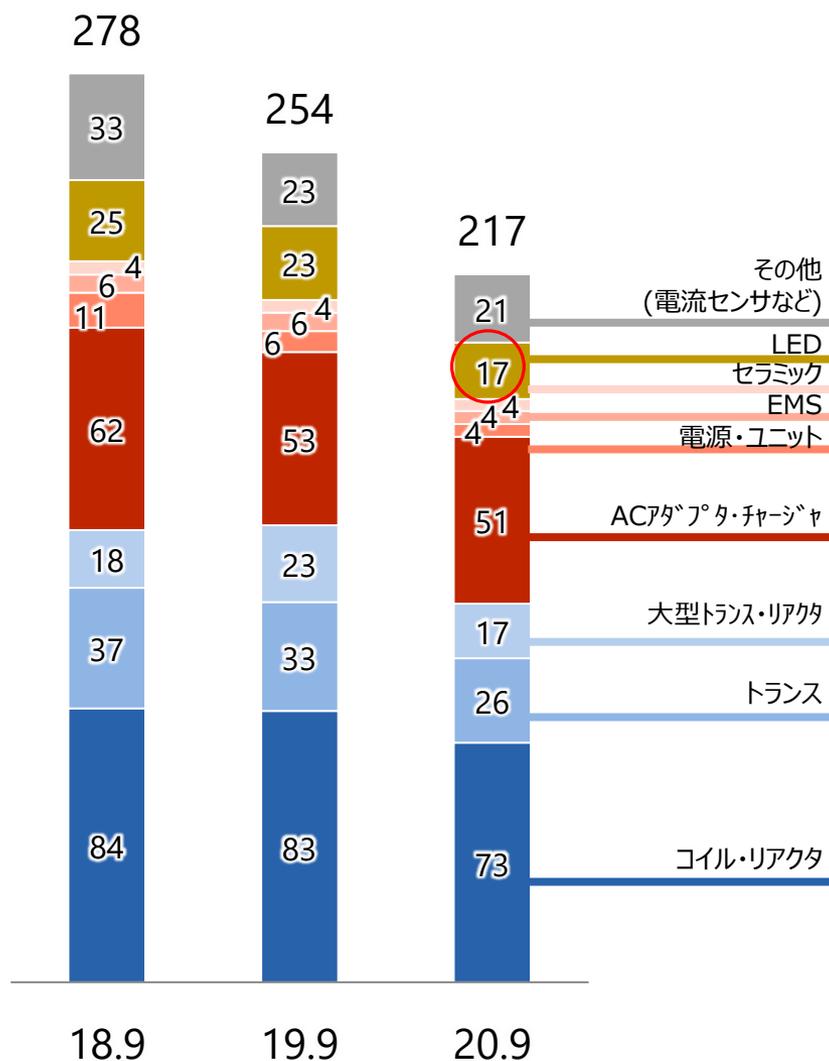
【事業部門別】電子部品関連事業の実績①

- ◆ 産業機械関連などは厳しい状況が継続するが、中国市場の牽引により、1Qをボトムに回復基調。
- ◆ 自動販売機向けLEDモジュールは、客先の設備投資先送りにより、期待した水準に大きく至らず。

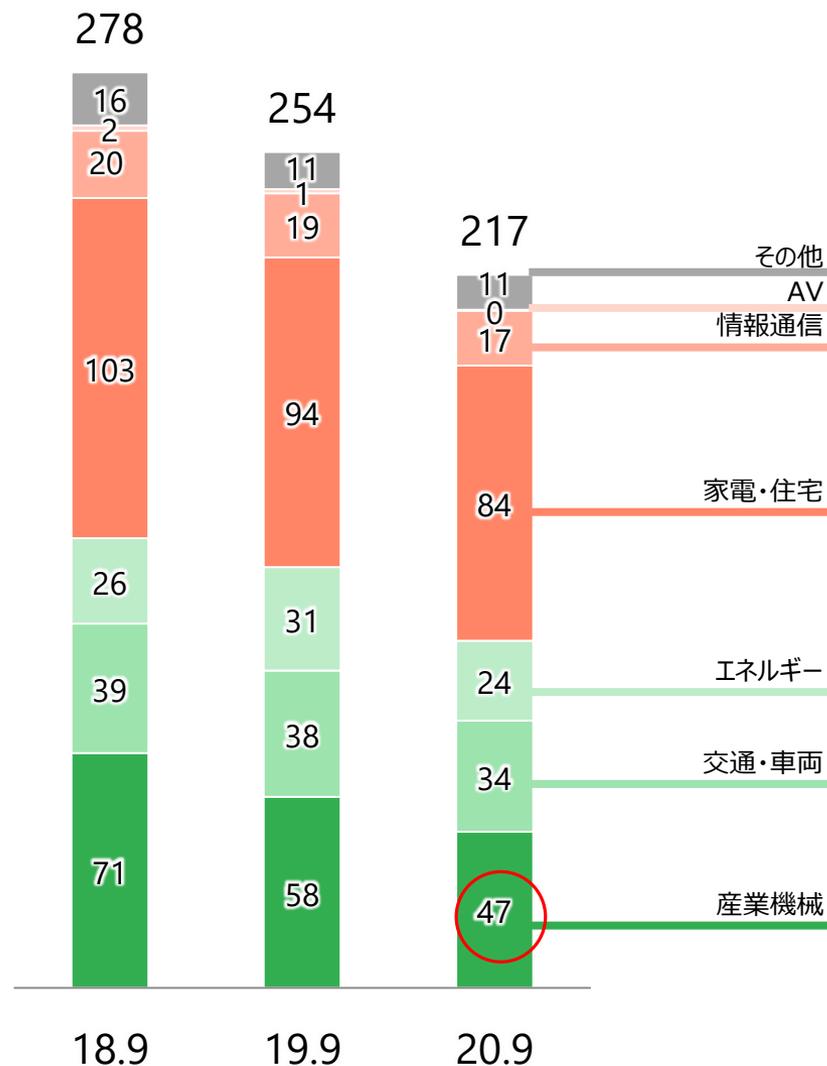
[百万円]	20.3期2Q		21.3期2Q		21.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	期初予想
売上高	25,410	▲8.6%	21,678	▲14.7%	22,500
営業利益	137	▲13.2%	▲161	-	0
営業利益率	0.5%	▲0.1pt	▲0.7%	▲1.3pt	-



製品別売上高 [億円]



市場別売上高 [億円]

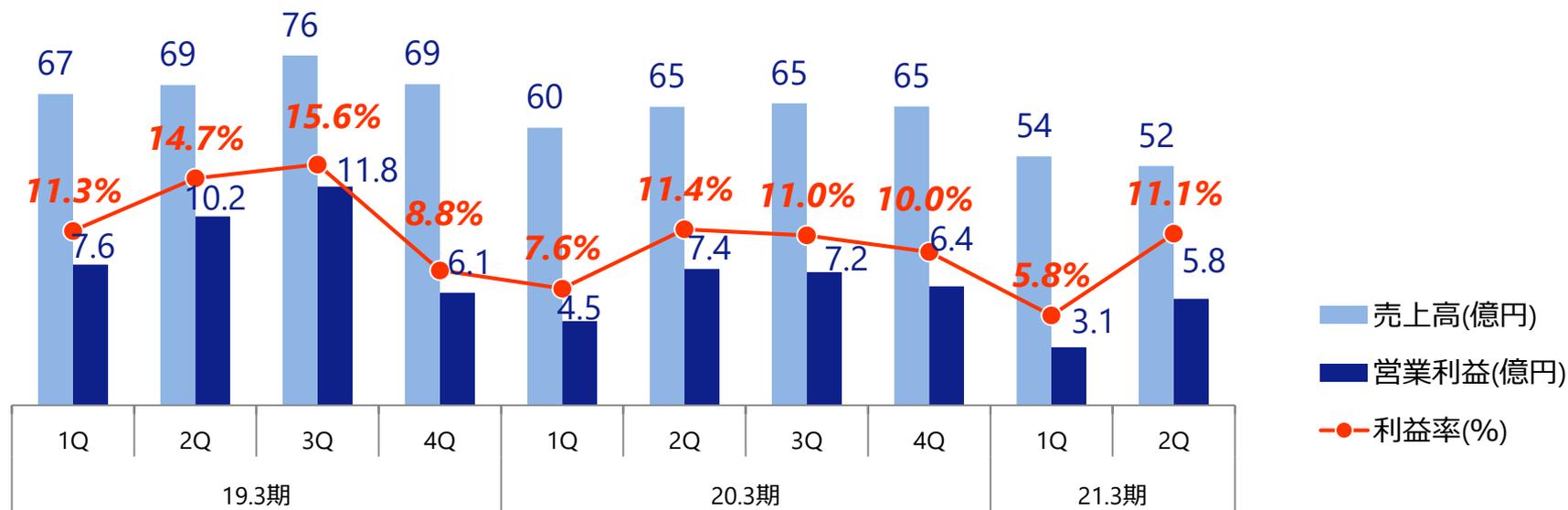
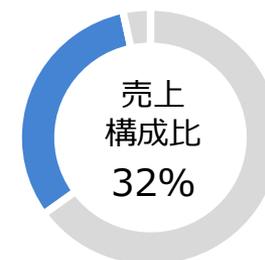


注： その他事業に含まれるサーマル事業（温度ヒューズ）は、2018年10月1日をもって事業譲渡が完了し、以降の数字が減少

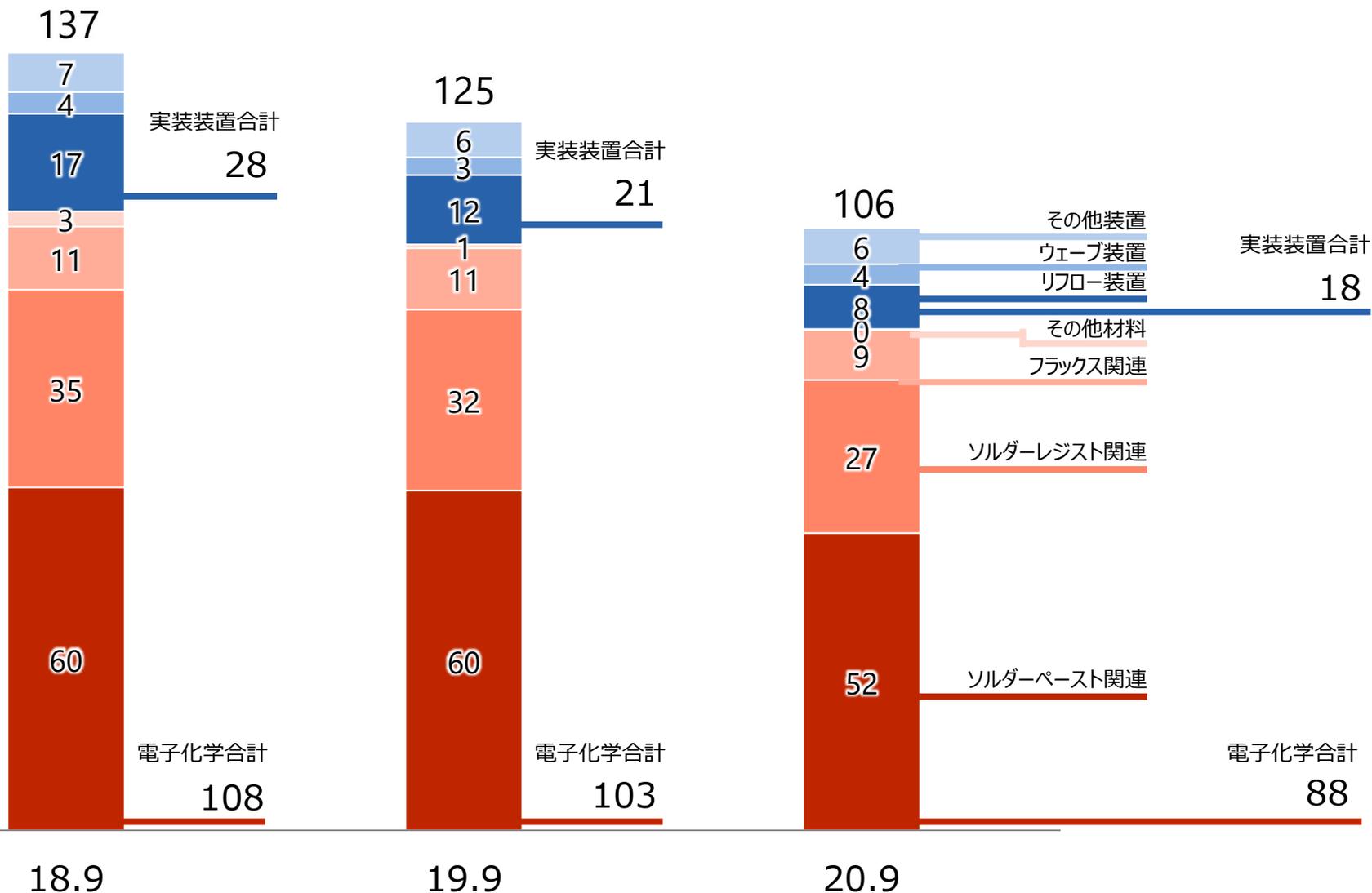
【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績①

- ◆ 2Qより中国市場が牽引し、車載向けソルダーペーストやスマホ向けFPCLレジストが上向きで推移。
- ◆ リフロー装置は、客先の設備投資の先送りや抑制により、厳しい状況が継続。

[百万円]	20.3期2Q		21.3期2Q		21.3期2Q 期初予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	12,454	▲8.8%	10,551	▲15.3%	10,600
営業利益	1,191	▲33.1%	889	▲25.3%	600
営業利益率	9.6%	▲3.5pt	8.4%	▲1.1pt	5.7%

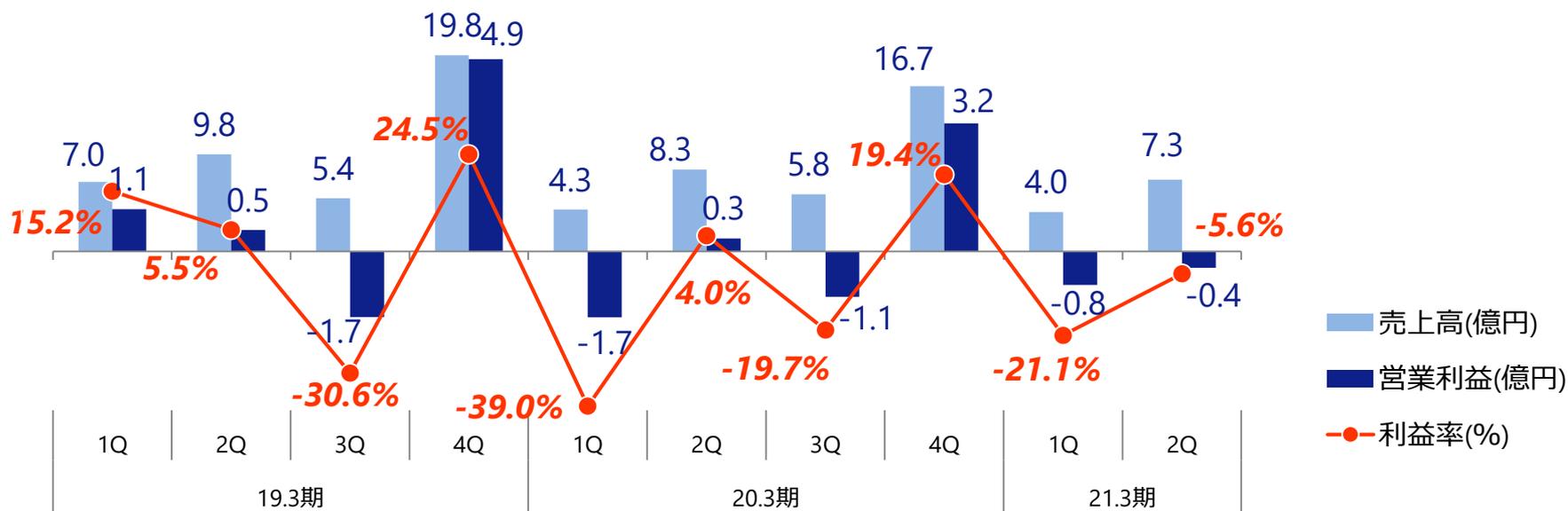
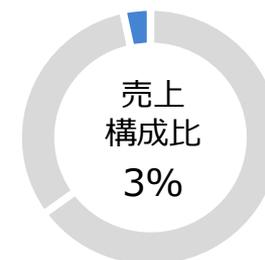


製品別売上高 [億円]



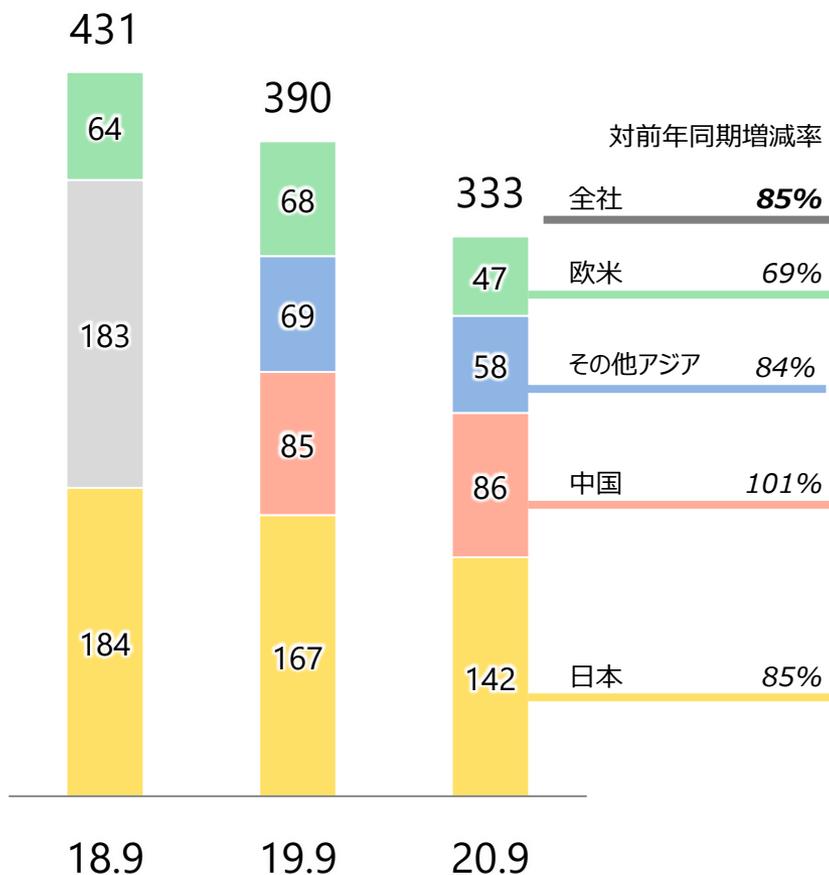
- ◆ コスト削減などにより期初予想より赤字幅は縮小したものの、主力客先である放送局の設備投資需要が弱く、主たる売上も第4四半期末を中心に予定していることから黒字化できず。

[百万円]	20.3期2Q		21.3期2Q		21.3期2Q 期初予想
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	
売上高	1,251	▲25.7%	1,125	▲10.1%	1,200
営業利益	▲132	-	▲124	-	▲250
営業利益率	▲10.6%	▲20.2pt	▲11.1%	▲0.5pt	▲20.8%

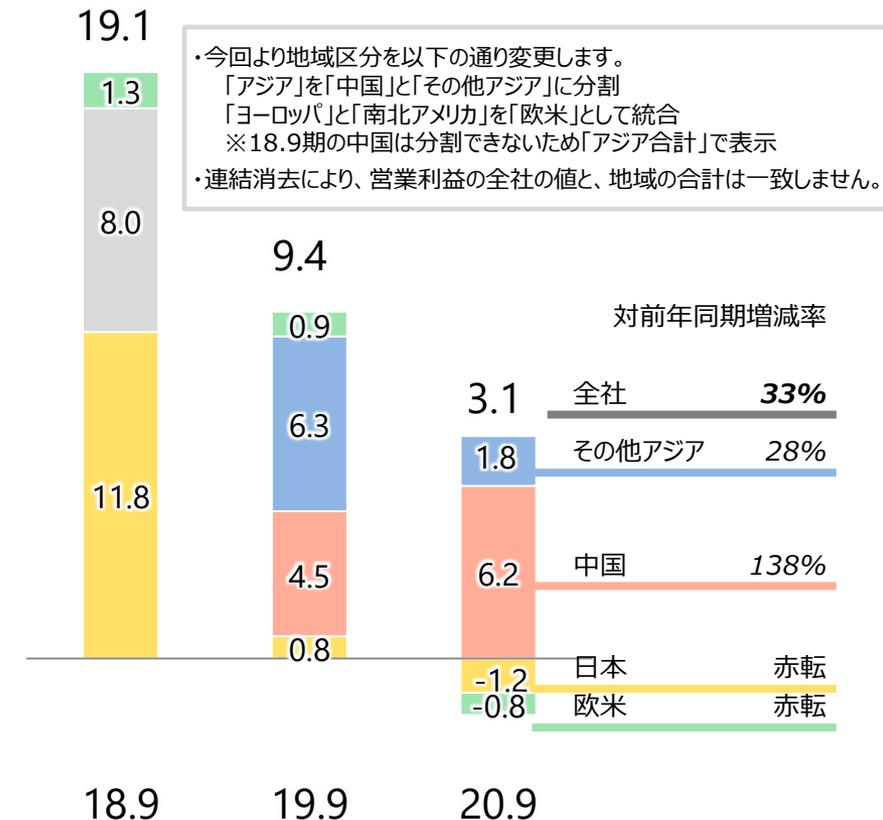


- ◆ 2Qから中国が全社の収益を牽引。アセアンを中心とした「その他アジア」は、コロナ影響が長期化し減収減益
- ◆ 日本は実装装置や自動販売機関連・放送機器などが厳しく赤字。欧米も売上減速し赤字転落。

売上高 [億円]



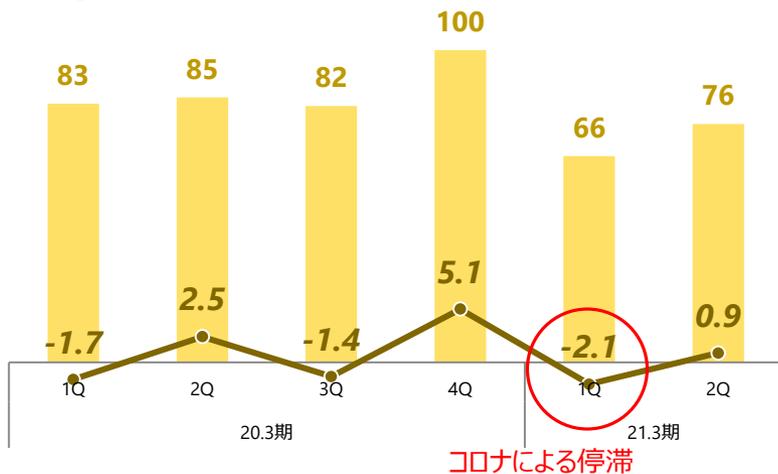
営業利益 [億円]



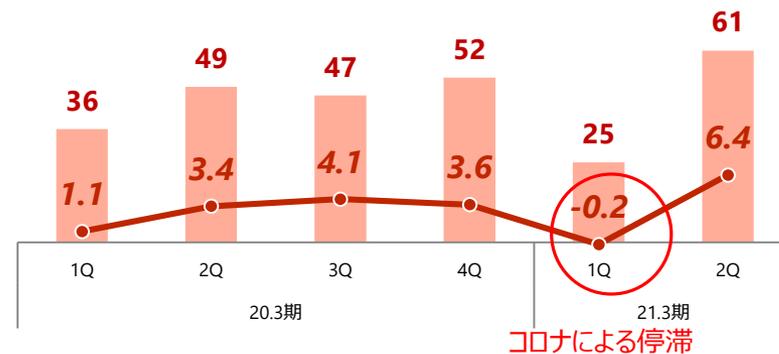
地域別の売上高・損益（四半期推移）

■ 売上高(億円) ●— 営業利益(億円)

日本



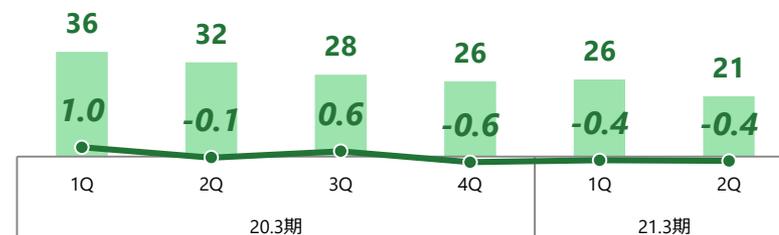
中国



その他アジア



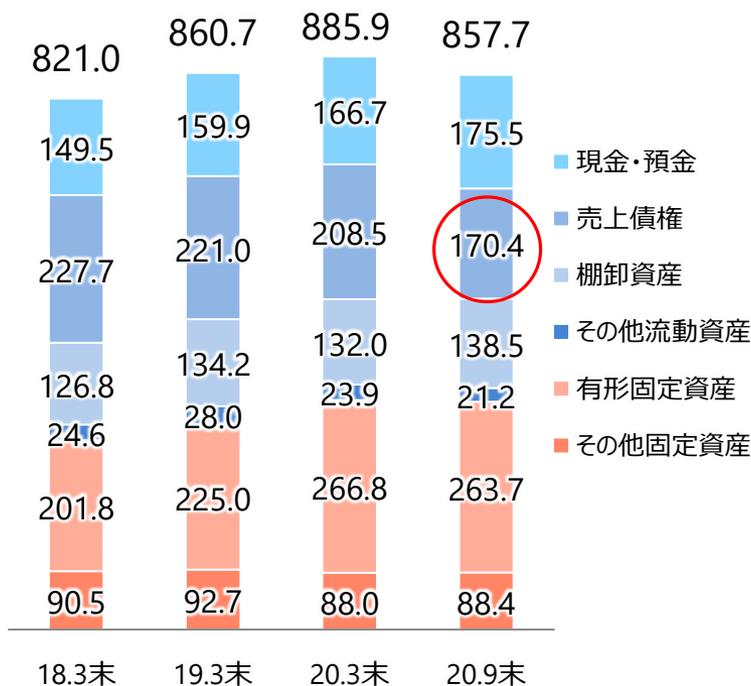
欧米



- ◆ 主に売上債権の減少により、総資産は前連結会計年度末に比べて約28億円減少
- ◆ 新型コロナによる不測の事態に備えて短期運転資金を銀行借入したことにより、有利子負債が増加。

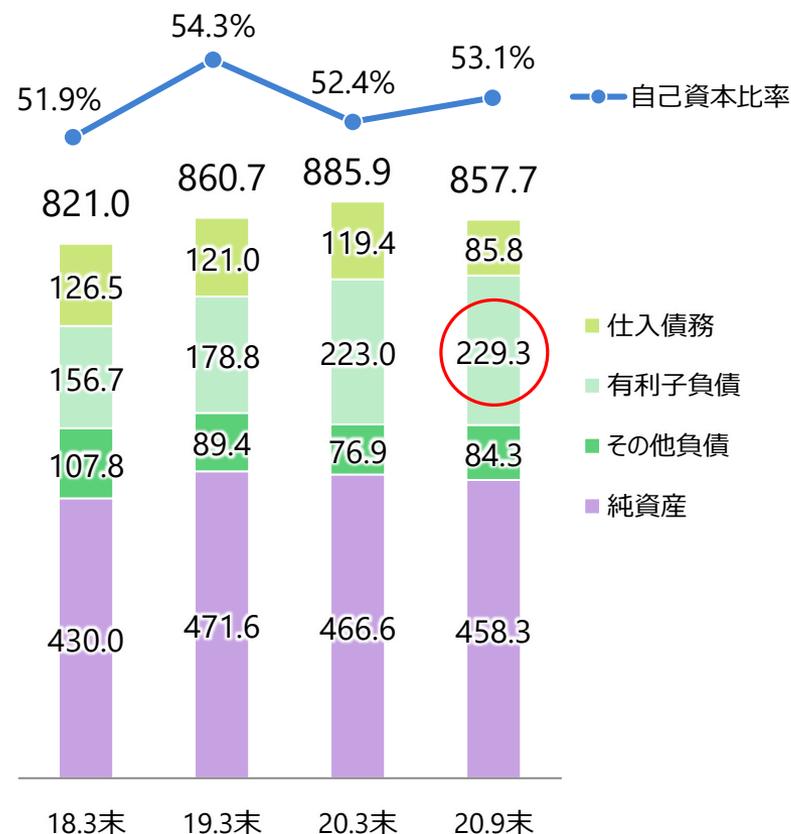
資産

[億円]



負債・純資産

[億円]



2. 2021年3月期 通期業績予想

- ◆ 期初予想は新型コロナウイルス感染症は上期には収束するものとして設定していたが、今回予想はコロナ影響が当連結会計年度内は継続することを前提として見直した。
- ◆ 中国子会社の移転に伴う特別損失375百万円の発生を第3四半期に見込んでいる。

[百万円]

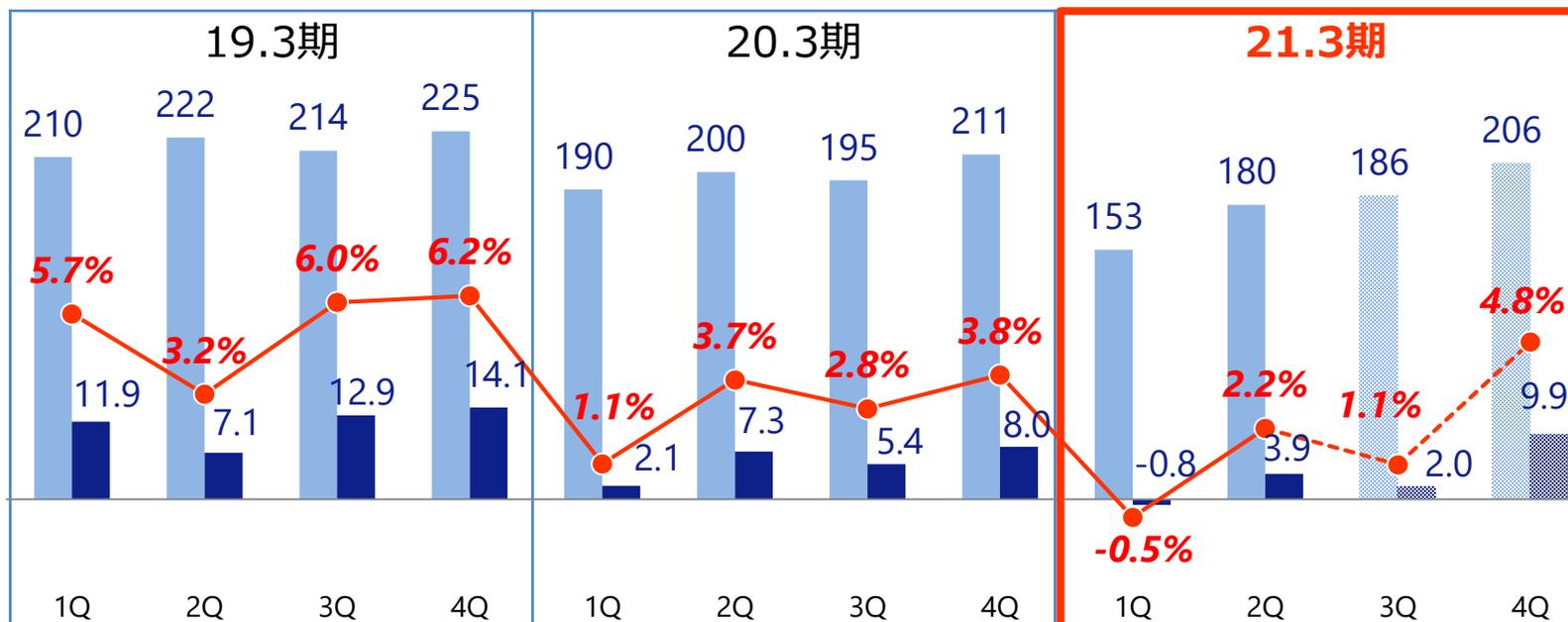
	2020.3			2021.3			2021.3	
	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比	期初予想	構成比
売上高	79,655	100.0%	▲8.5%	72,500	100.0%	▲9.0%	76,300	100.0%
営業利益	2,289	2.9%	▲50.2%	1,500	2.1%	▲34.5%	2,300	3.0%
経常利益	2,510	3.2%	▲48.2%	2,000	2.8%	▲20.3%	2,200	3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,024	1.3%	▲84.0%	450	0.6%	▲56.1%	800	1.0%
為替 (円/米ドル)	期中平均	108.42	▲1.60pt	107.00	▲1.42pt	105.00		
	期末	108.83	▲2.16pt	107.00	▲1.83pt	105.00		
1株当たり配当	10.00円		0.00円	8.00円	▲2.00円	未定		
配当性向	80.1%		+67.3pt	147.1%	+67.0pt	未定		
ROE	2.2%		▲12.1pt	1.0%	▲1.2pt	未定		

注： 2021.3期の期初予想はレンジ開示であったため、上表はベストシナリオベースで記載

四半期別の売上高・損益

- ◆ 中国市場の牽引、自動車・スマートフォン・在宅需要関連などで売上は増加。
- ◆ 3Qの利益は、情報機器などの期末集中型事業の減益が影響し、2Q比ではやや減少。

■ 売上高(億円) ■ 営業利益(億円) ● 営業利益率(%)

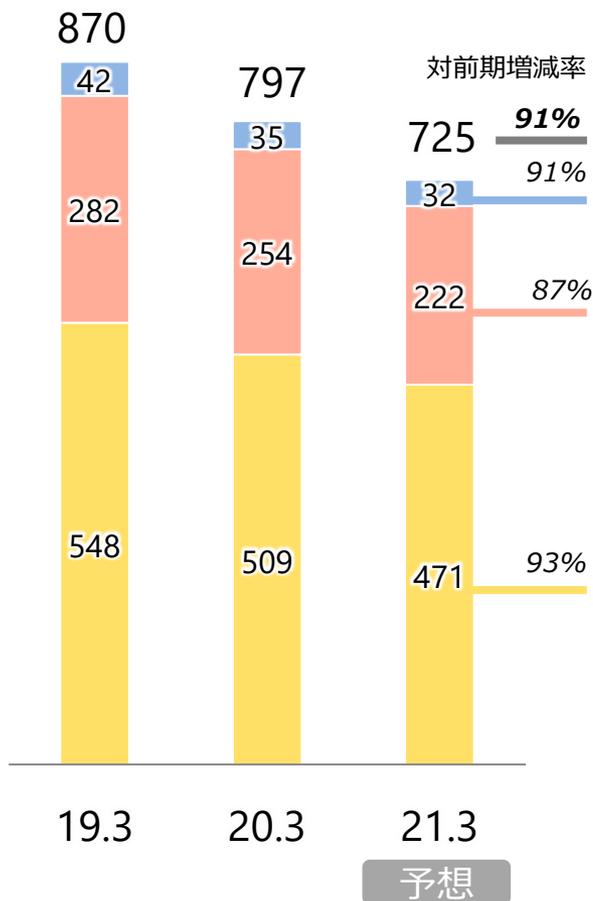


[百万円]	19.3期		20.3期		21.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	43,112	43,896	39,008	40,647	33,325	39,175		
営業利益	1,905	2,695	941	1,348	309	1,190		
営業利益率	4.4%	6.1%	2.4%	3.3%	0.9%	3.0%		

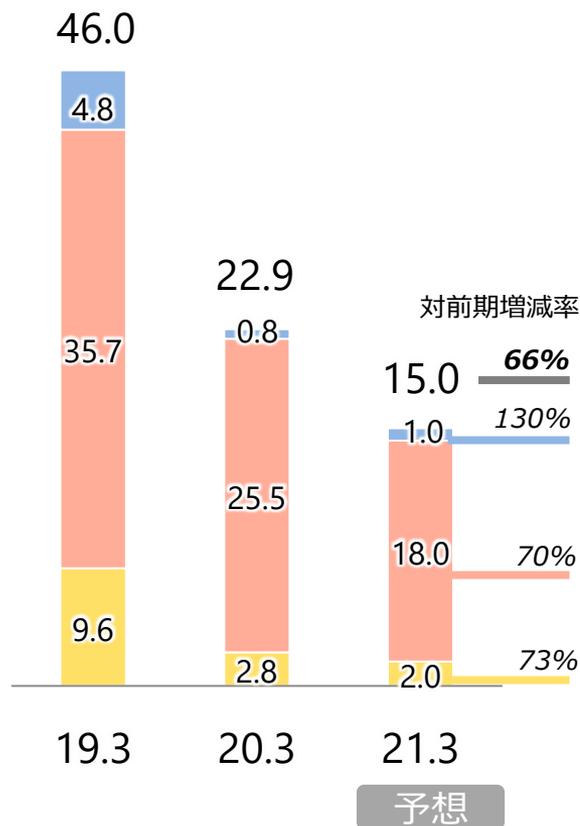
事業部門別の売上高・損益見通し

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

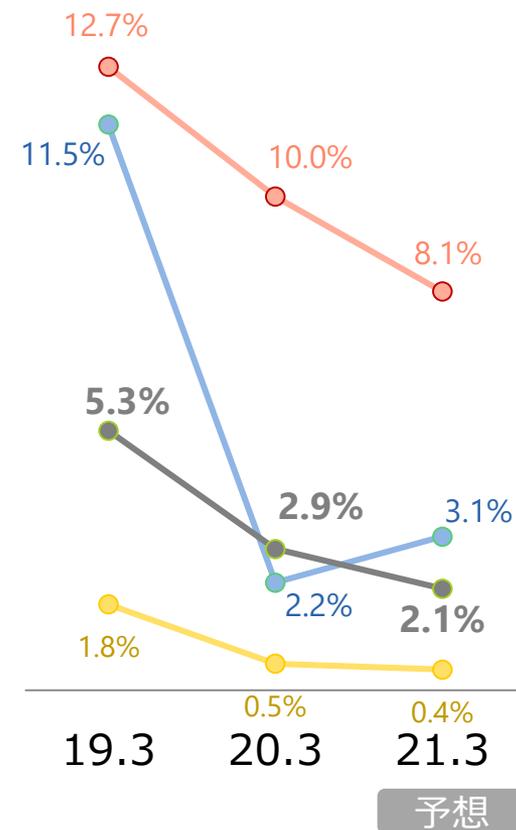
売上高



営業利益



営業利益率

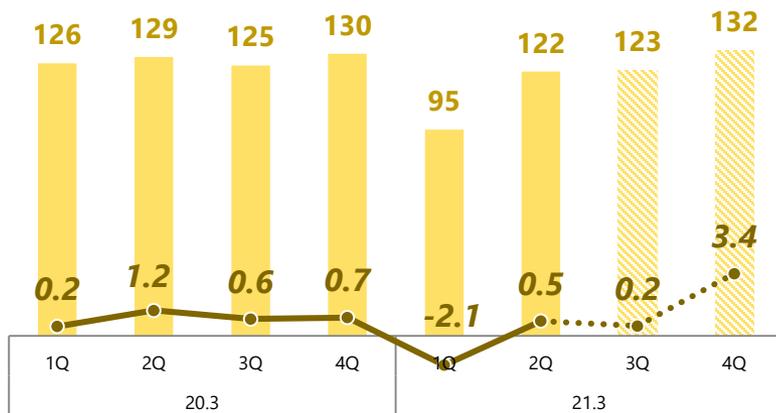


注：連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

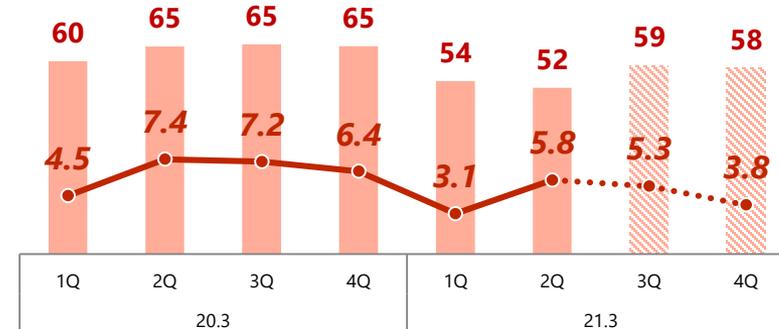
事業部門別の売上高・損益（四半期推移）

■ 売上高(億円) ●— 営業利益(億円)

■ 電子部品

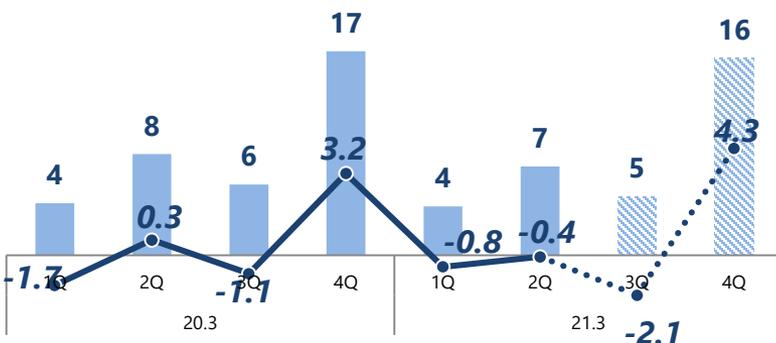


■ 電子化学実装

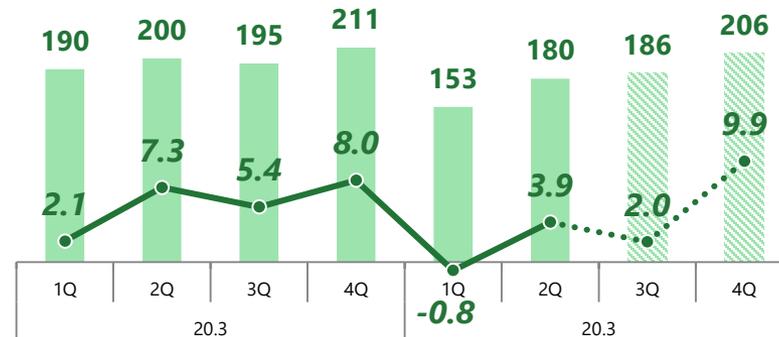


※20.3期よりタイ新工場の減価償却費発生

■ 情報機器

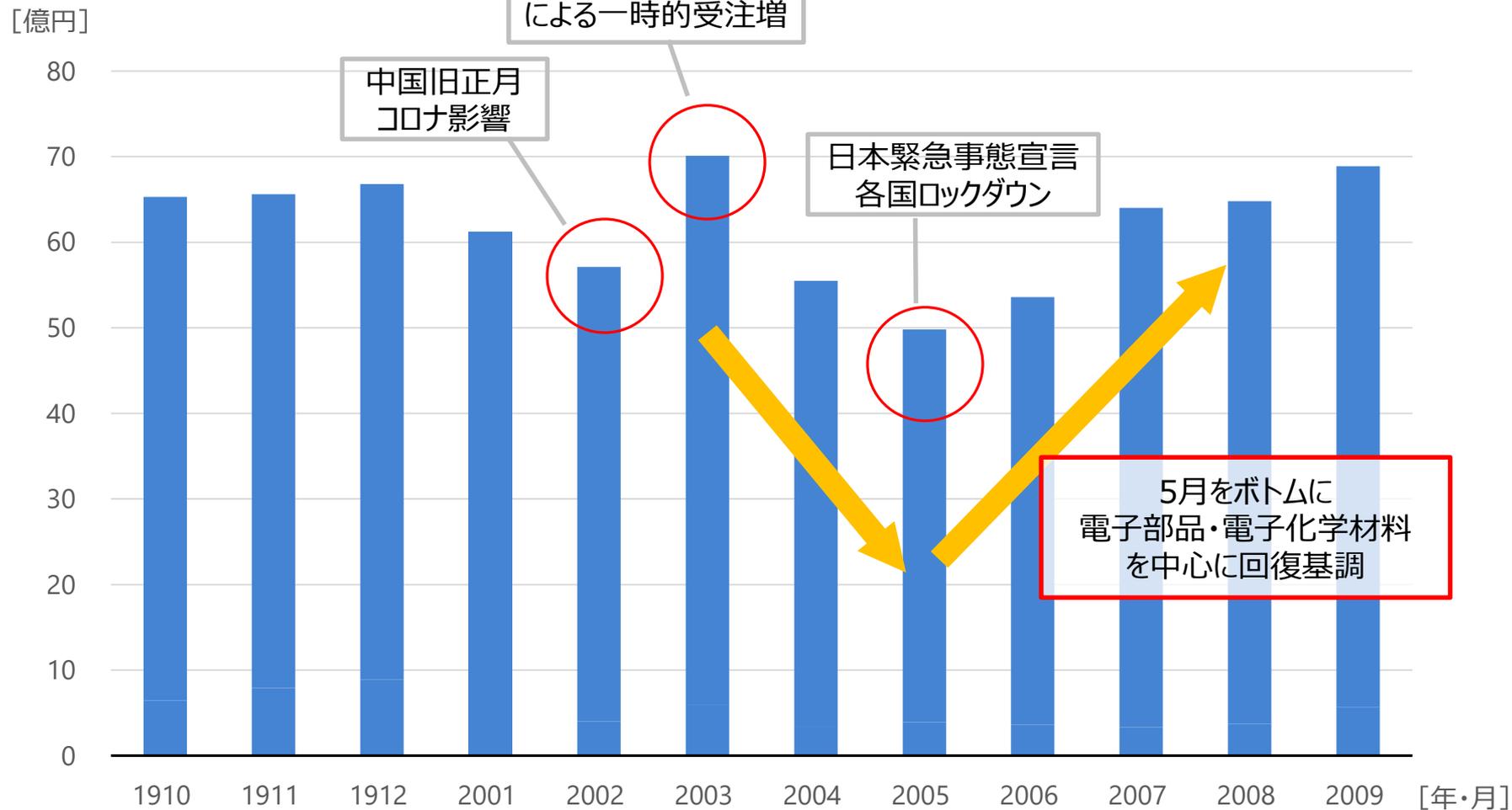


■ 全社



注： 放送機器の売上は期末（2Q・4Q）に集中する傾向あり

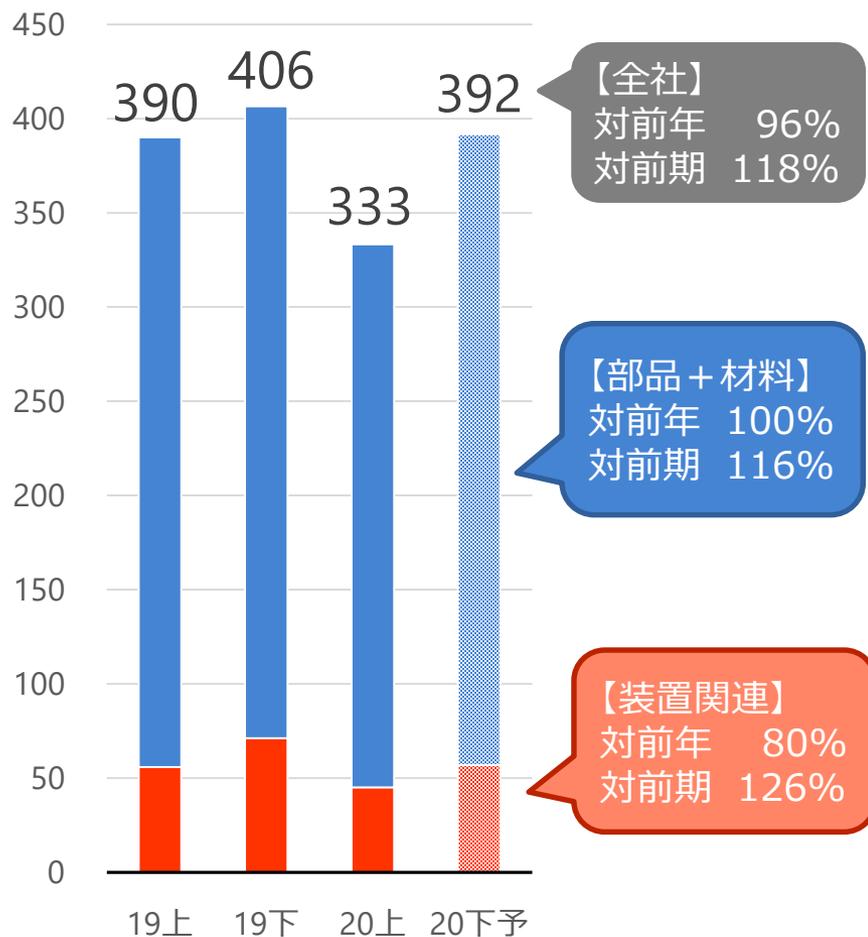
■ 受注高 (同月ベース)



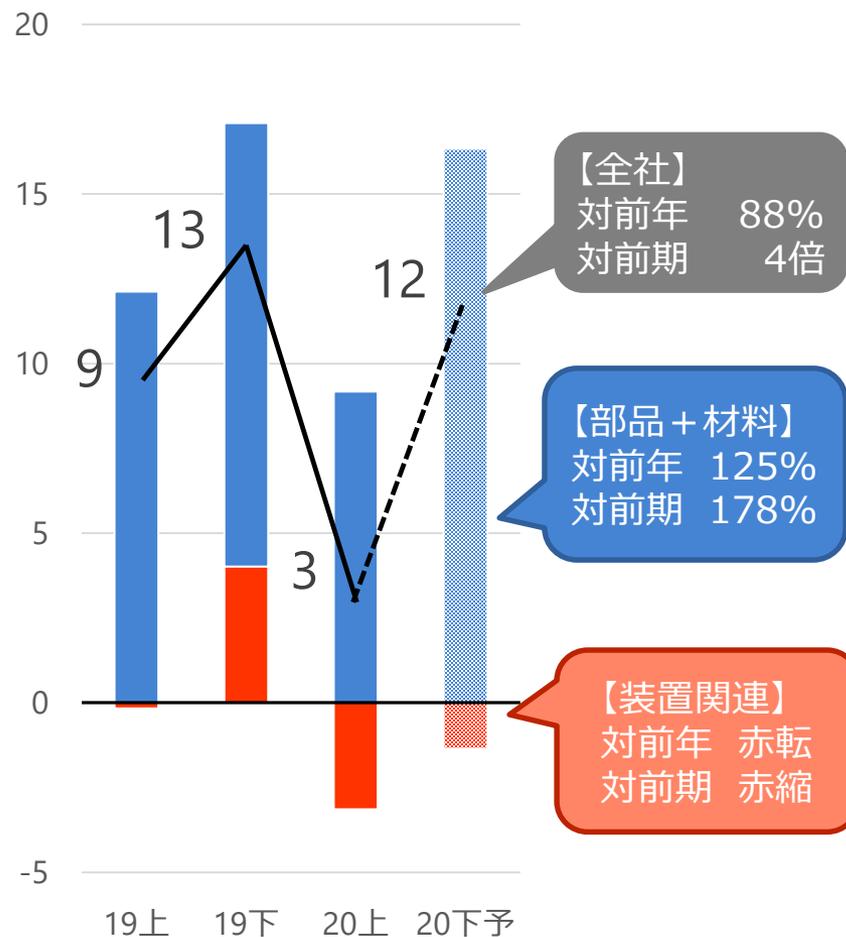
部品+材料 vs 装置関連 半期推移

- 電子部品事業（LED事業除く）+ 電子化学事業 → 早期回復に向かっており、20年下期は前年同期を上回る
- LED事業+実装装置事業+情報機器事業 → 装置関連の事業環境は厳しく、回復は緩慢

売上高 [億円]



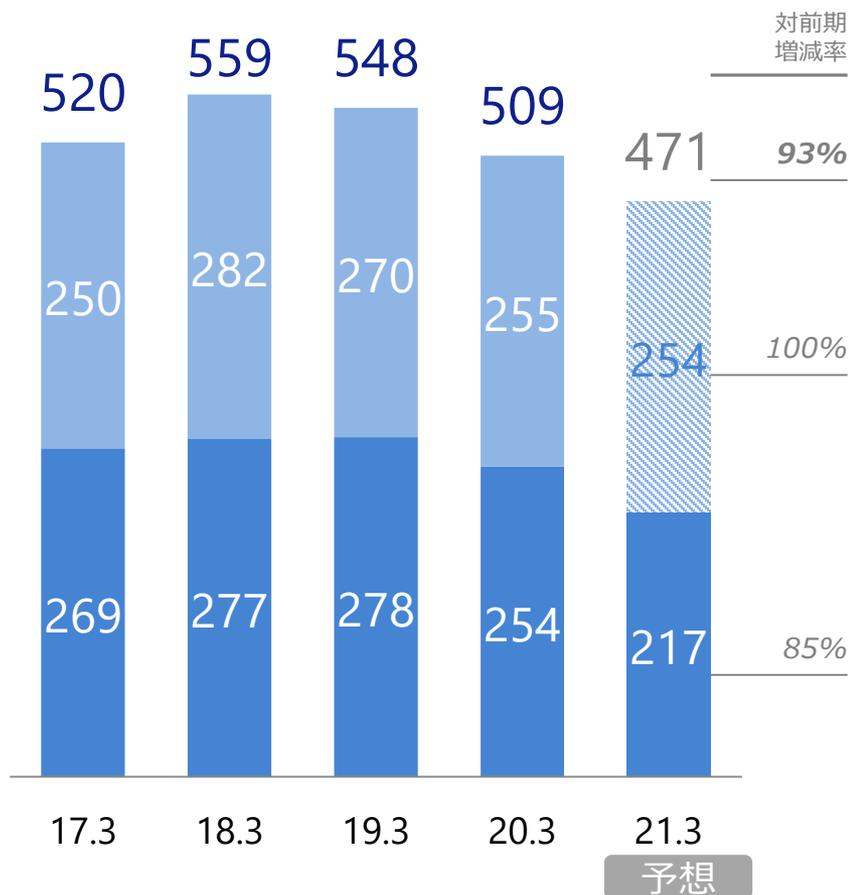
営業利益 [億円]



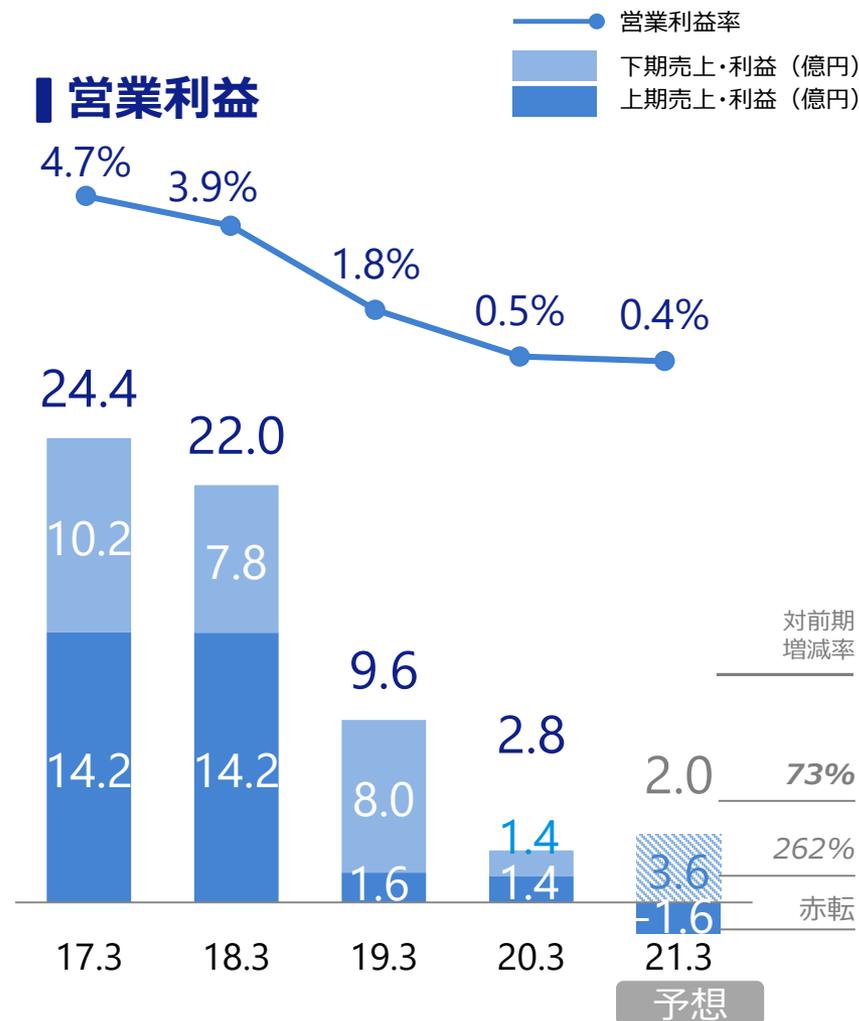
注：連結消去により、営業利益の全社の値と、グラフの要素の合計が一致しません。

- ◆ 在宅需要で電動工具用チャージャは好調、自動車関連も回復基調。
- ◆ 当初自動販売機用LEDモジュールの拡大を見込んでいたが、来期以降に持ち越し。

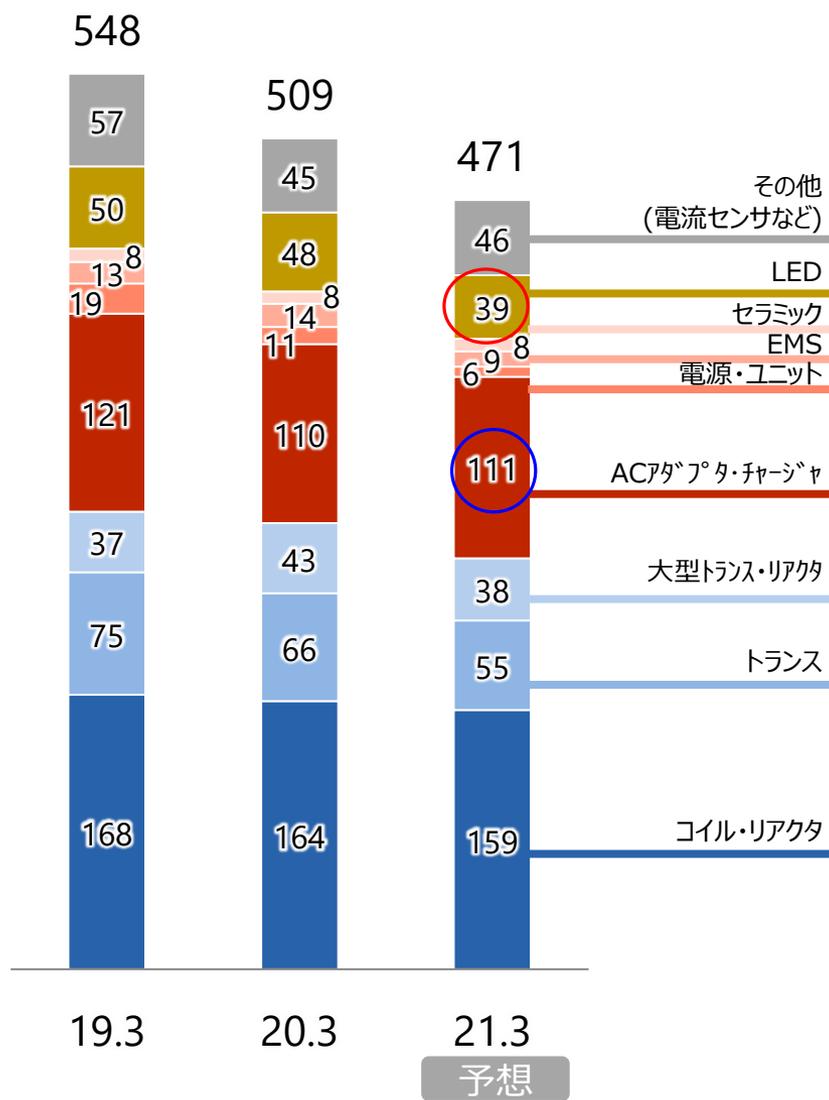
売上高



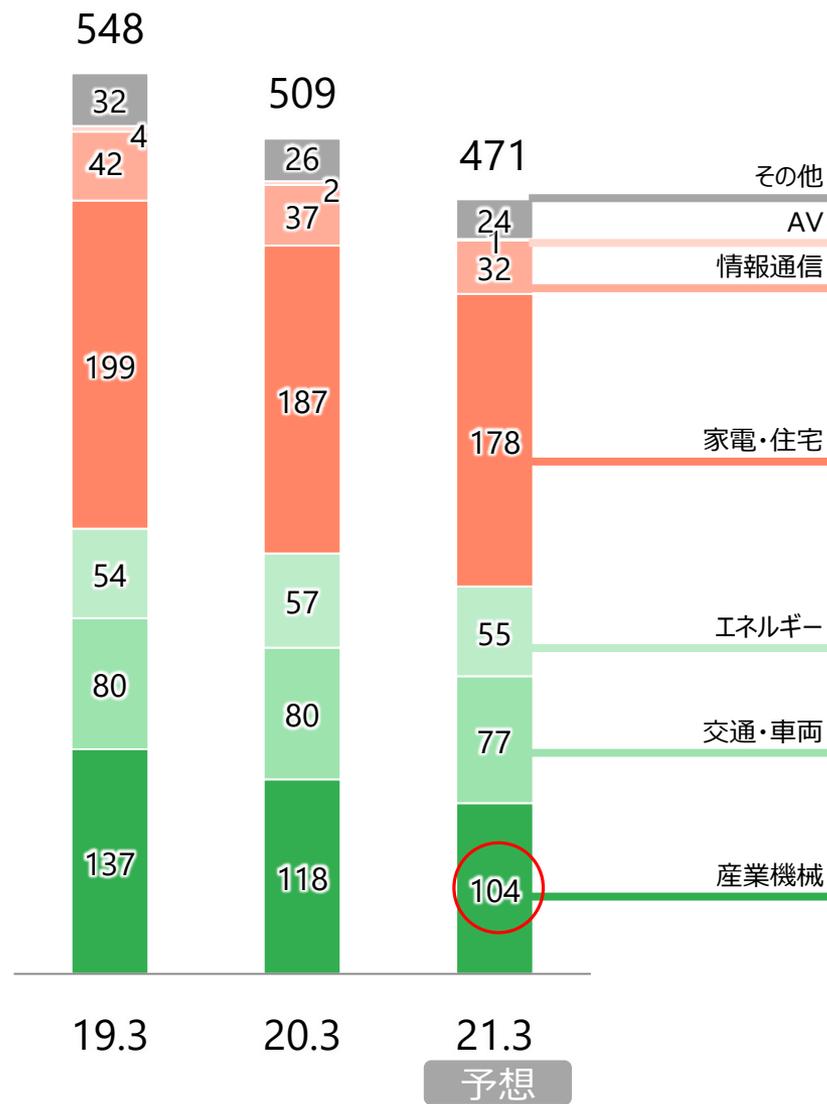
営業利益



製品別 売上高 [億円]

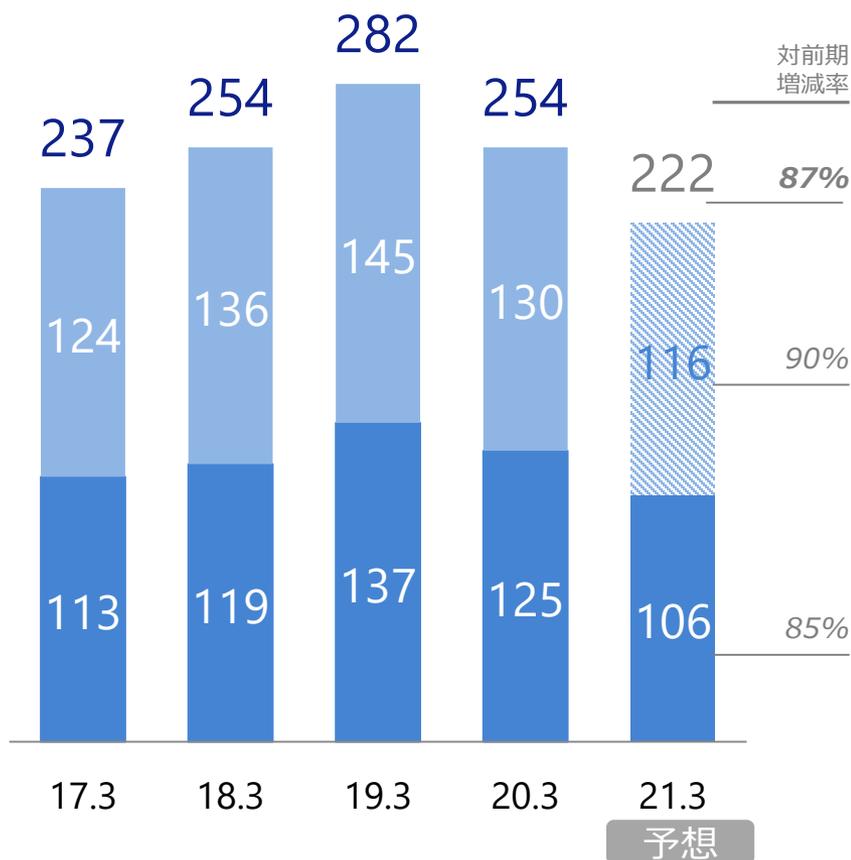


市場別 売上高 [億円]

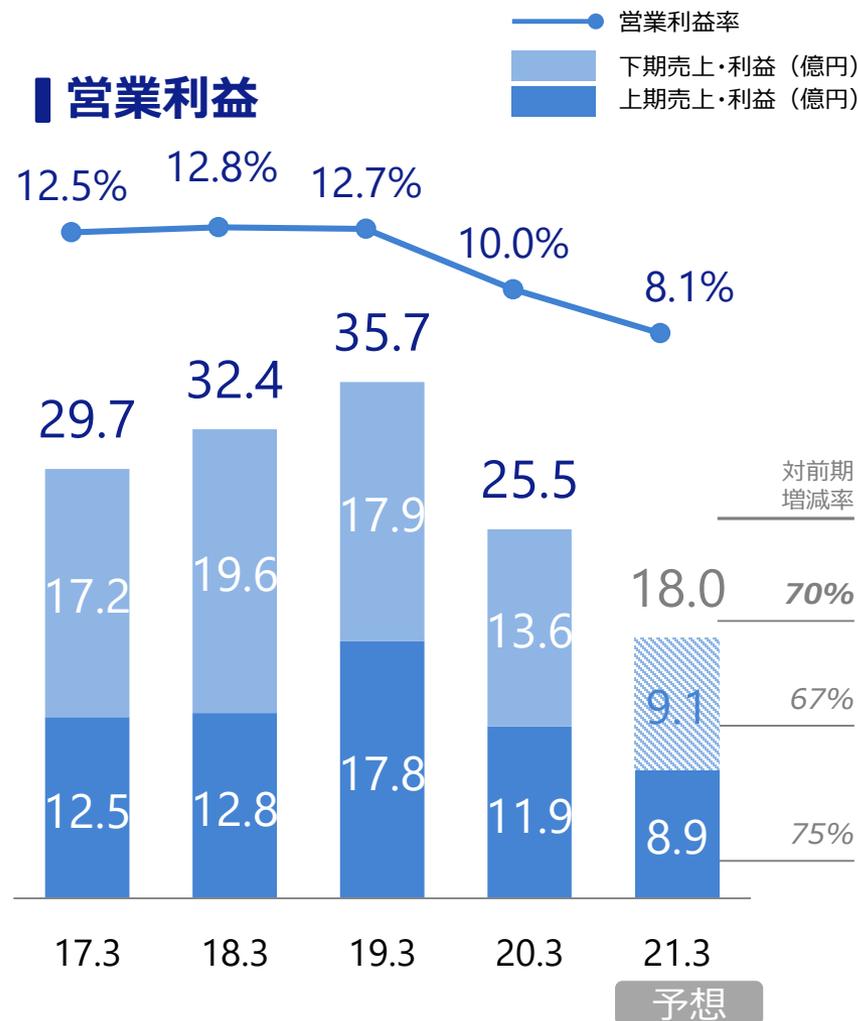


- ◆ 電子化学材料は中国市場が牽引し、自動車関連は復調。スマホ関連は出足が遅かったが上昇基調。
- ◆ 実装装置は取引先の設備投資の抑制や先送りが続き、下期も厳しい状況の継続を予想。

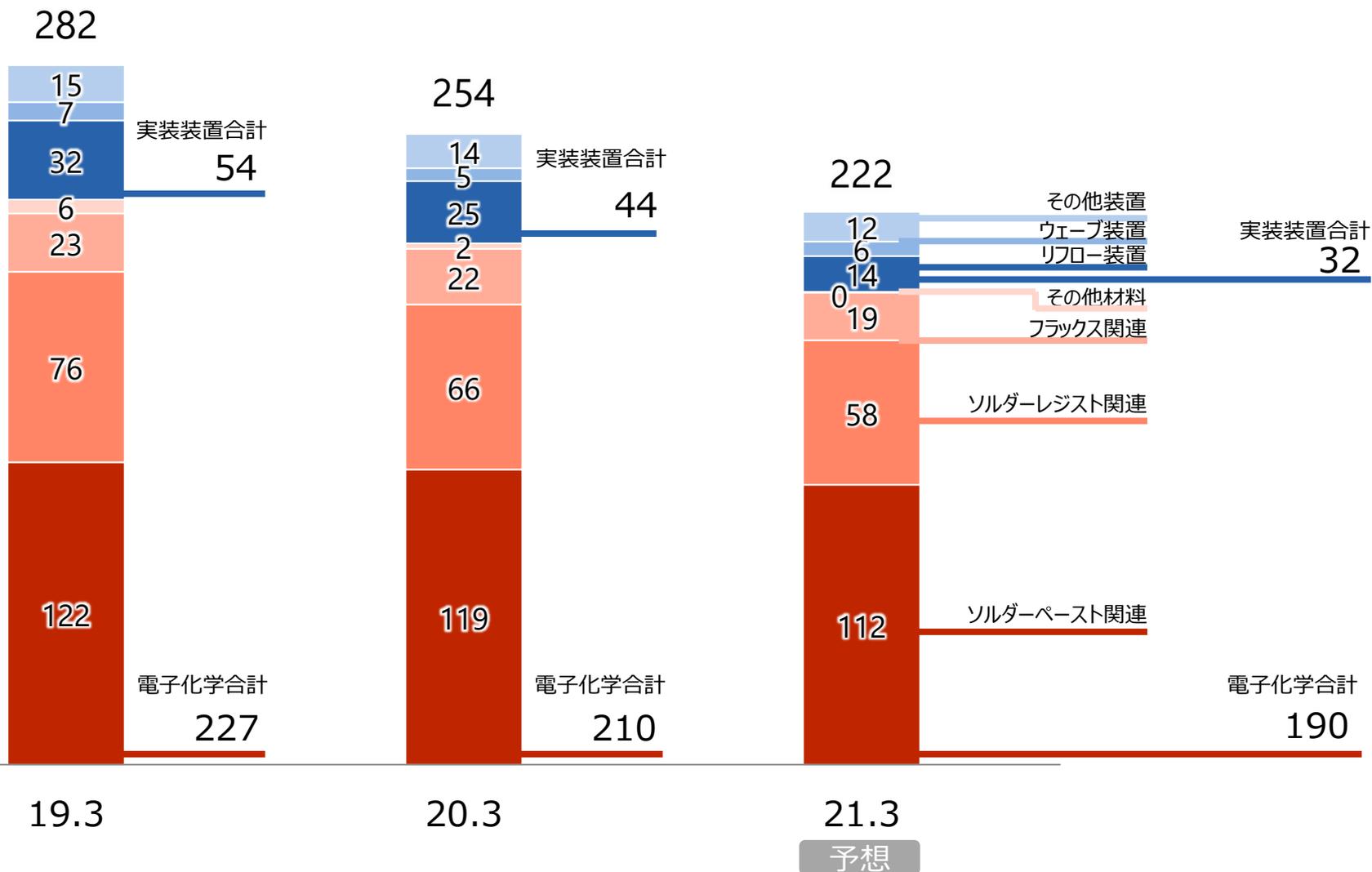
売上高



営業利益

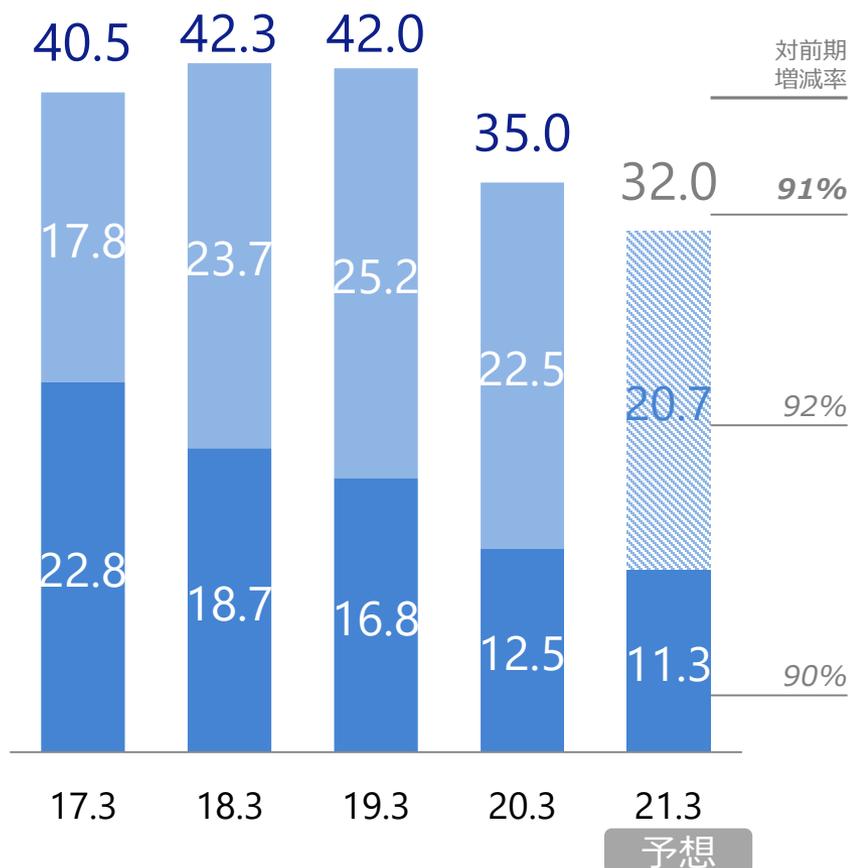


製品別売上高 [億円]

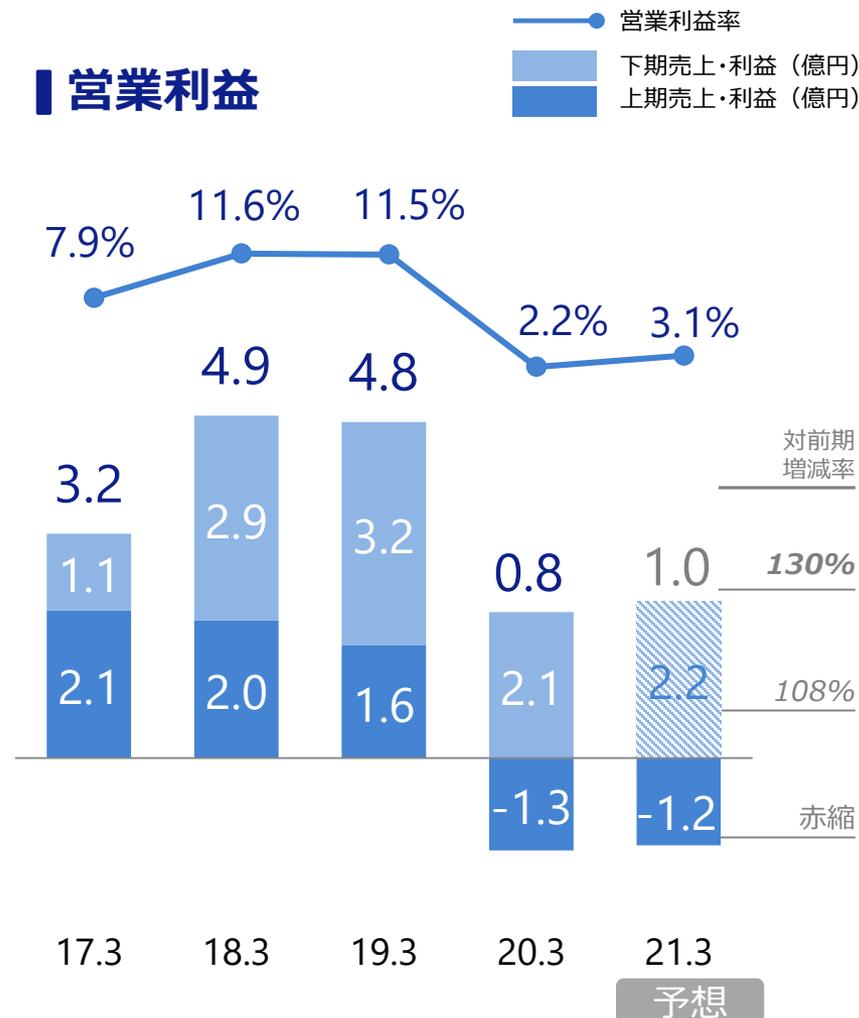


- ◆ 放送局向けの音声卓など、期末集中の売上で通期黒字化を図る。
- ◆ 音声卓のネットワーク化など、将来的なニーズに対応する開発を進行中。

売上高



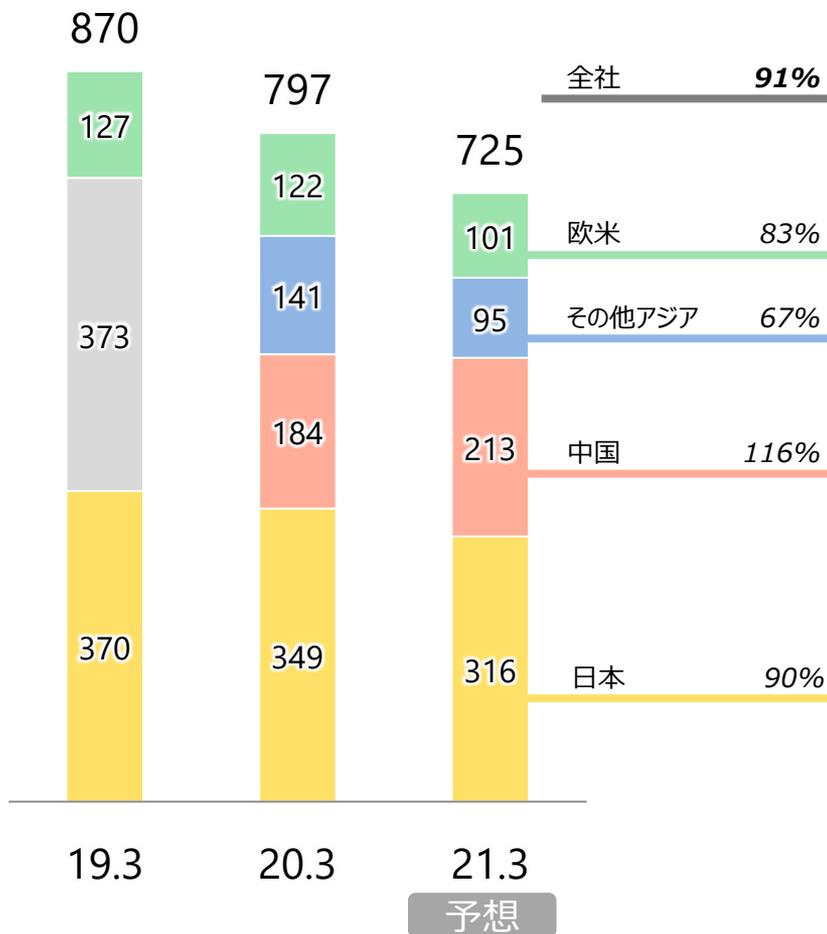
営業利益



- ◆ 中国は、新型コロナから順調な回復を背景に、対前年増収増益を見込む。
- ◆ 日本は、放送機器・自動販売機・産業機械関連などの設備投資需要が厳しく低調。

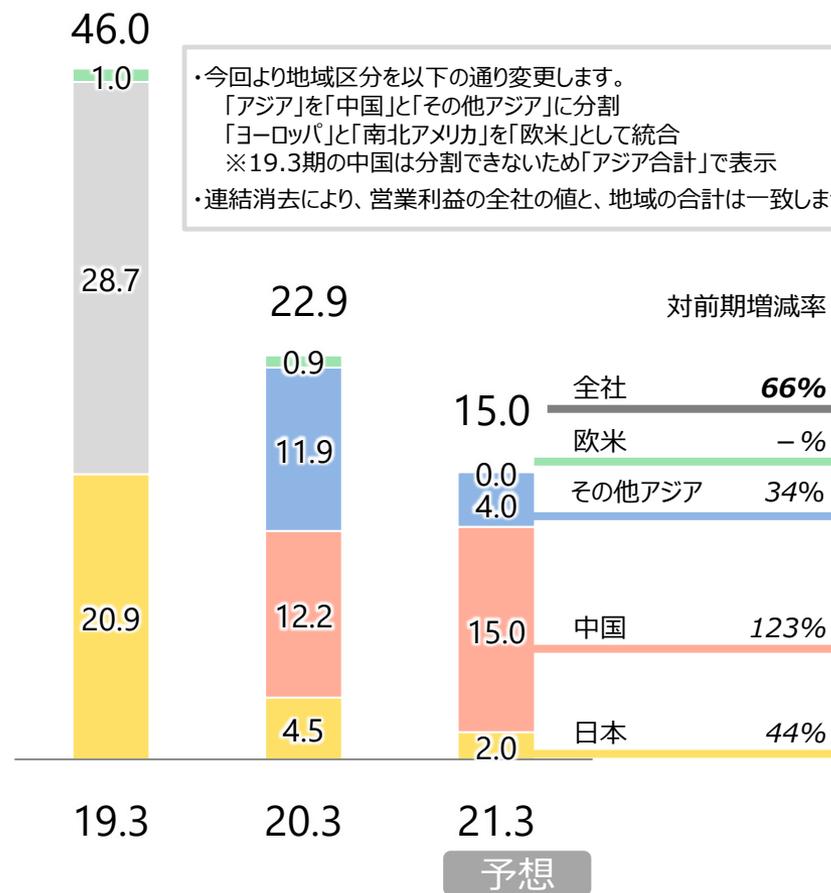
売上高 [億円]

対前期増減率



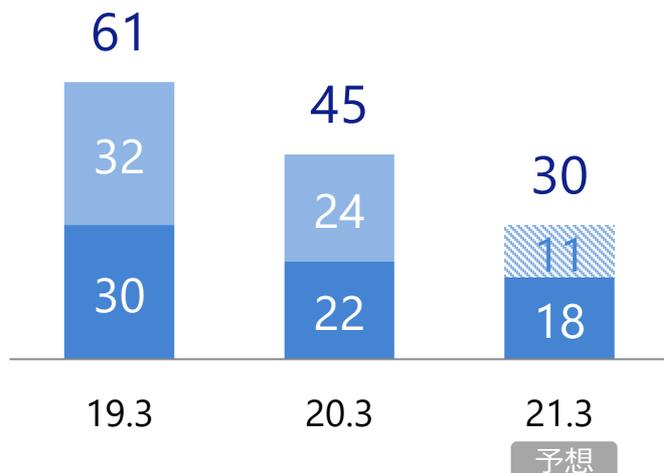
営業利益 [億円]

・今回より地域区分を以下の通り変更します。
 「アジア」を「中国」と「その他アジア」に分割
 「ヨーロッパ」と「南北アメリカ」を「欧米」として統合
 ※19.3期の中国は分割できないため「アジア合計」で表示
 ・連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計は一致しません。



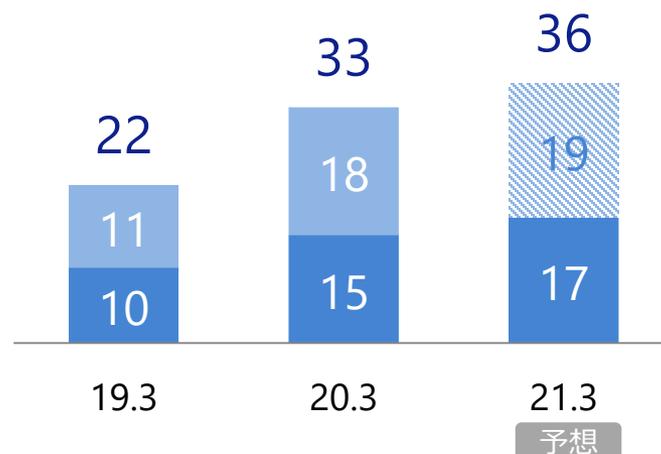
設備投資

※リースを含む

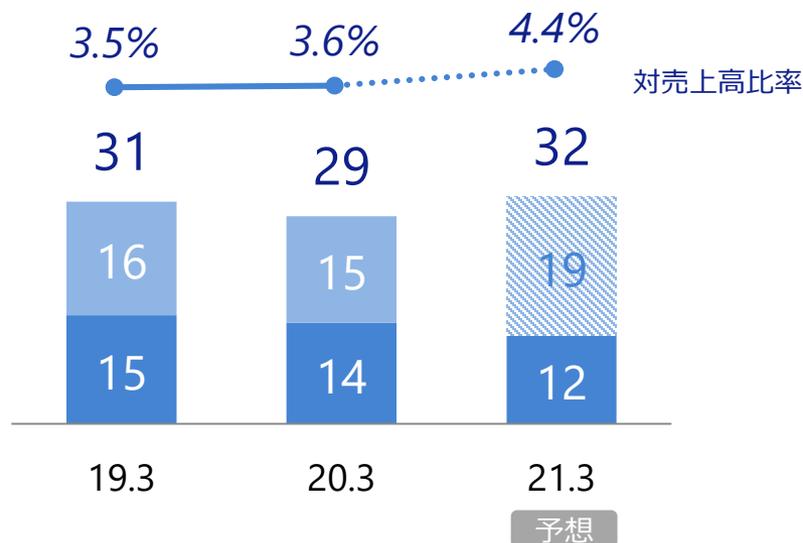


減価償却費

下期 (億円)
上期 (億円)



研究開発関連費用



※20.3期よりIFRS16(リース会計)の海外子会社への適用により、賃借料が減価償却費扱いとなるため金額が増加しています。

主な設備投資

- 電子部品: 車載関連生産設備増強 (中国・坂戸)
- 電子化学実装: 国内外生産設備増強

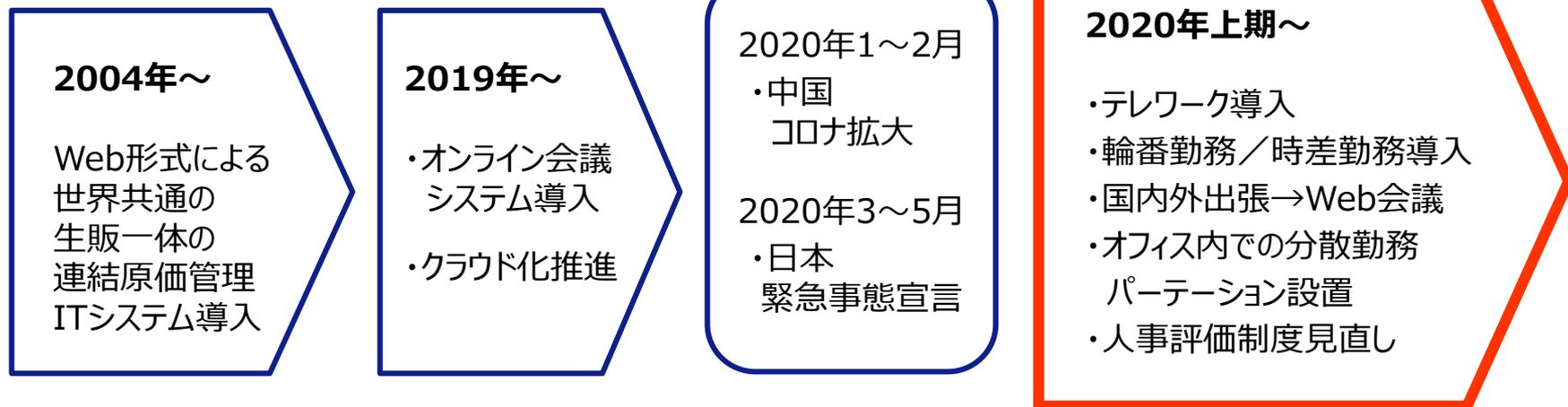
主な開発投資

- 電子化学材料 高耐熱はんだ開発、新素材関連
- 車載用電子部品関連
- セミコン・結晶開発 (酸化ガリウム) 関連
- 音声卓 (ミキサー) のネットワーク対応

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

3. トピックス

- 当社グループの事業所や工場は、所在する各国の政府や自治体からの新型コロナウイルス感染拡大防止に関する指針に従うとともに、テレワーク・輪番勤務・時差勤務の導入、国内外出張からWeb会議システムへの転換、オフィス内での分散勤務などの様々な対策を講じ、**感染拡大防止と事業継続の両立**を進めています。
- タムラグループでは、拠点の9割以上をカバーする世界共通の生販一体の連結原価管理ITシステムが2004年より稼働しており、オンライン会議システムも新型コロナ拡大前の2019年度中に導入が完了しておりました。そのため2020年上期はスムーズに**「新しい生活様式」への移行**ができ、販管費削減効果もあげることができました。



コロナに先行して柔軟で
グローバルな
ITシステムを確立

IT活用と人事制度改定の両輪で
コロナ対策と
働き方改革を同時推進

- 「働き方改革」を実践しながら、未来を見据えた「事業戦略」を推進し、「業務改革」で **“One Tamura”** を実現するという3つの柱で、事業活動を進めてまいります。
- 「業務改革」では、2020年1月に経営層の担当事業の一斉変更を行いました。各分野に精通した事業部トップの配置を換えたのは、各事業部のベストプラクティスを他の事業領域でも展開し、異なる事業同士の掛け合わせによる化学反応を期待したものです。さらなる業績拡大のために事業部単独ではなくグループ丸となったアプローチで、全社レベルのビジネス効率化を進めます。



Bilrite Tamura GROWING ANEW

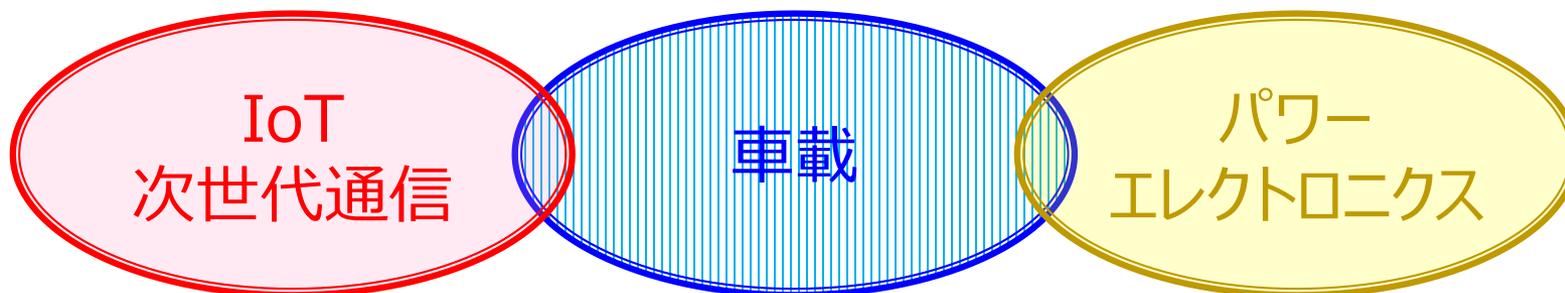
タムラグループは長期ビジョンとして創業100周年（2024年）とその先に続く持続的な成長を見据える第12次中期経営計画を、2019年4月にスタートしました。足元の業績は目標とする経営指標から遠い結果となっておりますが、当社が目指すビジョンは『ウイズコロナ』の時代でも不変であり、むしろ当社の注力分野のニーズは、より加速するものと捉えて、取り組みを進めてまいります。

目標とする経営指標

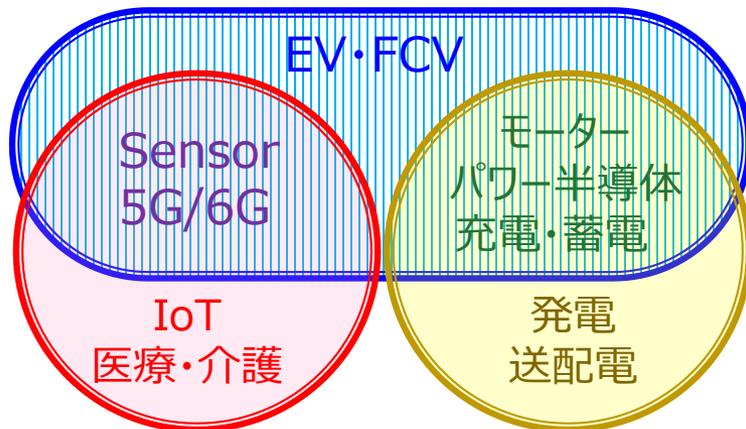
2024年度 (100周年)	営業利益率	ROE
	10%以上	10%以上

3つの注力分野

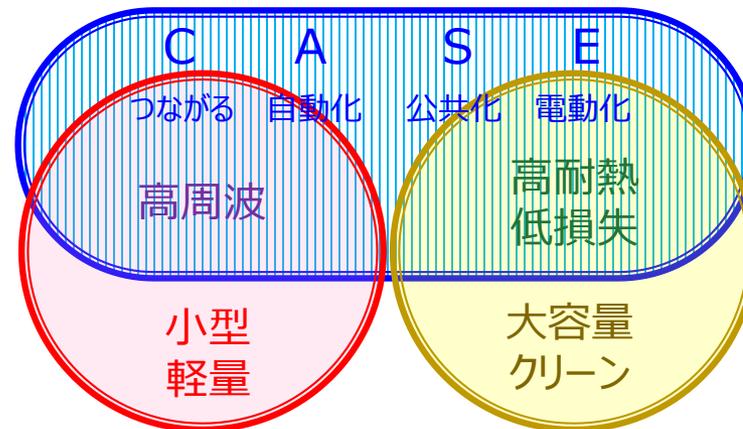
タムラは各事業分野で、卓越した製品・技術を持っています。今後大きな成長が期待される「**車載**」・「**パワーエレクトロニクス**」・「**IoT・次世代通信**」の3つの市場をターゲットに、グループ内のベストプラクティスを共有し、グループ総合力 = **“One TAMURA”** で取り組んでまいります。



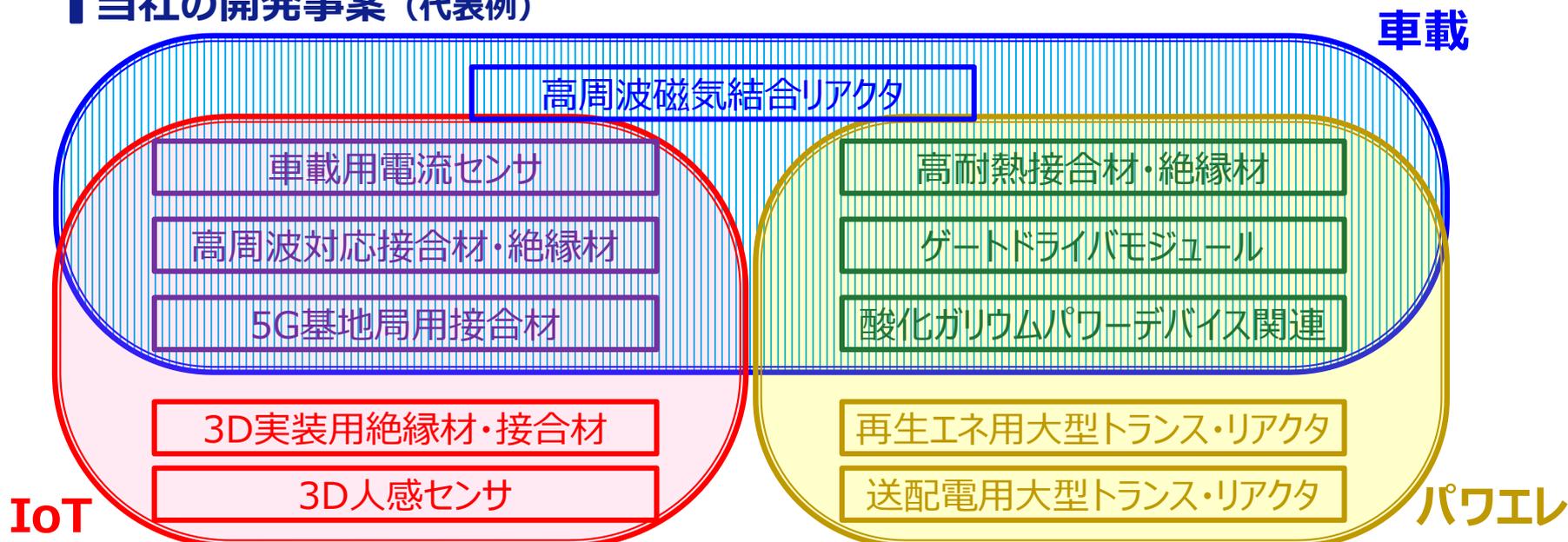
【当社が注目する未来市場】



【求められる重要要素】



■ 当社の開発事案（代表例）



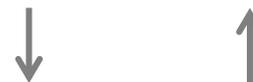
国際社会の要請



新市場の誕生・拡大



キーテクノロジー



タムラだからできること
タムラでしかできないこと

.....

.....

.....

.....

脱炭素社会の実現

世界で急進展

自動車をはじめとする
電動化の流れ

前倒し

パワー半導体

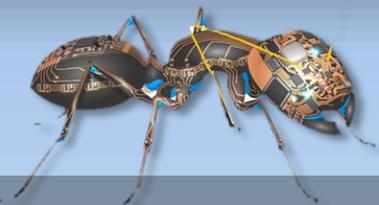
• 電子部品・電子化学材料の両方を扱うタムラだからできる
独自製品開発

• 源流にある部品・材料だからできる
お客様の課題解決への
トータルサポート



次世代ソルダーレジスト

PICC=Photo Imageable Coverlay Coat (感光性カバーレイ)



【従来】2工程

1. カバーレイ張り付け後
2. ファインな実装工程が入るエリアをソルダーレジストで写真現像

【PICC】1工程

カバーレイ機能とソルダーレジストの両方を兼ね揃えた製品
フレキシブル性、低弾性、
薄型軽量化、折り返し屈曲性、
絶縁性能が必要とされる
超小型の3D機器
での活用を期待

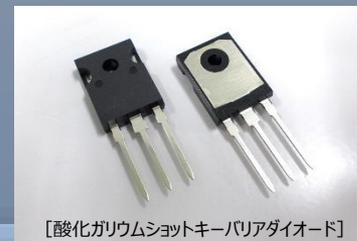
自由な形状
+ 高密度実装

高信頼性
+ 高温耐熱性

リフロー実装可能な
次世代半導体向け
新接合材料

次世代パワー半導体(SiC、GaN、Ga2O3等)の
動作温度200℃~300℃

現行主流のSiパワー半導体の動作温度175℃程度



【酸化ガリウムショットキーバリアダイオード】

金属間化合物接合材料

次世代ソルダーペースト

- 放送局・通信事業者・鉄道などの大手顧客を持つ情報機器事業と、自動販売機向けLED製品で独自のソフト系技術を有する光波事業の技術融合により、新市場・新製品開拓を推進します。

	情報機器事業	光波事業	連携効果
顧客	放送局・通信事業者・鉄道・セキュリティ関連などの大手顧客あり  [音声調整卓]	自販機関連以外の顧客開拓が課題  [連動ボタン]	情報機器顧客に 光波融合製品 を拡販  [3D人感センサ]
技術	通信系技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術 ・無線技術 ・音声伝送技術 	ソフト系技術 <ul style="list-style-type: none"> ・人感センサ ・独自のソフトウェアアルゴリズム 	ソフト技術の集約 <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には電子部品や実装装置など、タムラの他の事業部のソフト設計も期待
その他	タムラ製作所 ユニット事業との連携		設計・生産力強化
	スタートアップとの連携、M&A		新技術の取り込み

One Tamuraで

新市場
成長市場
へ参入

ホームセキュリティ
介護・見守り
社会インフラ
防災

...

【拠点最適化】電子部品中国生産拠点再編



華南 (A)	田村汽車電子(佛山)有限公司	2022年の量産開始に向け建設中	初の中国「車載用昇圧リアクタ」生産専用工場を新設
	田村電子(深圳)有限公司	2020年10月 深圳市工業団地内の 新工場に移転し稼働開始	従来より借地面積・賃料縮小 チャージャ生産を田村電子(蘇州)に移管し、 電流センサ・モジュール製品の主力工場に
華東 (B)	田村電子(蘇州)有限公司	2020年下期より本稼働	チャージャ生産を田村電子(深圳)より移管 主要顧客近辺での生産により 顧客満足度向上、運賃・倉庫代の削減
	田村精工電子(常熟)有限公司	田村電子(蘇州)へ 業務移管	機能集約による効率化

新設

最適化

集約

縮小

生産立ち上がり

株式会社若柳タムラ製作所



2019年	
4月	12月
1ライン導入完了	本格量産開始

2020年9月時点
年間**50**万台の生産体制構築

まずは1ラインのフルキャパ化推進で稼働を引き上げる！

※100万台生産に向けた第2ライン増設は市況を見てタイムリーに判断していく



計画進捗中

田村汽車電子(佛山)有限公司



2019年		2020年
3月	11月	10月現在
会社設立	着工	内装工事中

ほぼ**オンスケジュール**
2022年量産開始

量産開始時 生産台数**50**万台/年
⇒ 最大**200**万台/年に!



タムラ製作所 坂戸車載新工場



2020年		
1月	9月	10月現在
新築工事開始	建屋完成	設備搬入中 外構工事中

計画どおり進捗
2020年12月 完成

現在の坂戸事業所生産台数**50**万台/年
⇒ 新工場稼働で**100**万台/年!



ご清聴ありがとうございました



TAMURA

Your One and Only Company

【付録】 参考資料

資本金：11,829百万円
連結従業員数：4,753名
連結売上高：79,655百万円
東証一部上場
代表取締役社長：浅田昌弘

売上高：2020年3月期実績
従業員数：2020年3月末現在



日本(本社：東京都練馬区)
・売上高：34,941百万円
・従業員数：1,229名

ヨーロッパ

・売上高：8,851百万円
・従業員数：232名

アジア

・売上高：32,474百万円
・従業員数：3,178名

南北アメリカ

・売上高：3,387百万円
・従業員数：114名

1924年創業

「田村ラヂオ商会」



トランスを**極**める！



電子部品関連

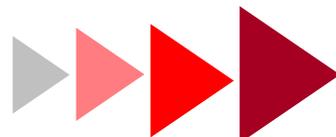


- 1956年～ 磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 2008年～ LED関連製品
- 2009年～ 車載用リアクタ
- 2010年～ 大型トランス

音を**極**める！



接合技術を**極**める！



電子化学実装関連

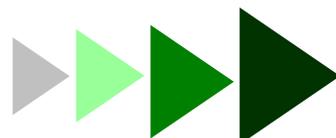


- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リリダ-ペースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置
- 2010年～ FPC用レジスト

1924年～

ラジオ、蓄音機の製作・販売

いい音（信号）を**極**める！



情報機器関連



- 1961年～ 放送用音声卓
- 1962年～ ワイヤレスマイク
- 1976年～ 伝送監視装置
- 2003年～ デジタル放送設備
- 2015年～ 8K向け音声卓

1930年～

トランスの自作化

航空・宇宙で

航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性で社会に貢献しています。

トランス・リアクタ

灯台で

超高輝度で、高い直進性が求められる灯台の光源を省エネルギー化、長寿命化し、メンテナンス性を向上します。

パワーLED

風力・太陽光発電・インフラで

再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。

大型トランス・リアクタ

電流センサ	ゲートドライバモジュール	電源モジュール
導電性接合材	白色反射材	フラックス

工場で

ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。

電流センサ	ゲートドライバモジュール
電源モジュール	はんだ付装置

駅で

発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。

LED式電光掲示板	駅用ワイヤレスマイクホン
-----------	--------------

コンビニや店舗で

店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。

看板用LED照明	ショーケース用LED照明
----------	--------------

街の自動販売機で

表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。

金額表示器	商品選択ボタン
-------	---------

放送局で

視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の無線システムです。

音声調整卓	DECT規格インターカム
ポータブルミキサー	

エコカーで

高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。

車載用リアクタ・コイル	
ソルダーレジスト	ソルダーペースト

スマートフォンやタブレットPCで

多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。

PAFフレキシブル基板向けソルダーレジスト	黒色吸収材
導電性接合材	写真現像型カーバレイコート(フィルム・液状)

家庭で

エアコンやパソコンの省エネに寄与する部品、居室内での活動状況を見守るセンサです。

電流センサ	電源モジュール	リアクタ	人感センサ
-------	---------	------	-------

▶ タムラ製作所公式ウェブサイトでは会社紹介動画を公開中

<https://www.tamura-ss.co.jp/>

TAMURA

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Bilrite Tamura

The 12th Mid-term Plan 2019-2021 & 2024

GROWING ANEW

<p>正しく豊かな成長への道筋を作る 正しく立派な製品を作る</p>	<p>正しい健全な経営体質を作る 正しい最適なグローバル体制を作る</p>
<p>Drawing a path to abundant growth Manufacturing excellent products Creating sound management Establishing the best global operation</p>	<p>开辟繁荣发展道路 创造优秀卓越产品 打造健全经营体质 建立最佳全球布局</p> <p>올바르게 다양한 성장의 기초를 구축 정직하게 우수한 제품을 생산 정직하고 건전한 경영체질을 구축 올바르게 최적의 글로벌 체제를 구축</p>

Bilriteとはタムラ創業期の製品である電気蓄音機・アンプに使用され、特に高級品、高品位品に付けられた由緒ある商標です。現存するカタログとして最も古い昭和12年発行のカタログ第3号の冒頭に、次のようなコメントが記されています。

「当製作所の製品にはBilriteの商標を付けてあります。是は製品に対して絶対的に責任を持つ意味であります。御買求めに際し、Bilriteの商標は品質に対する一種の保険証書として御承知置き下さい。」



Input

(2019年度、または2020年3月31日現在)

財務資本
総資産
886億円
自己資本比率
52.4%

製造資本
設備投資額
(リースを含む)
45億円

知的資本
長年にわたる技術・ノウハウの蓄積
研究開発関連費用
29億円

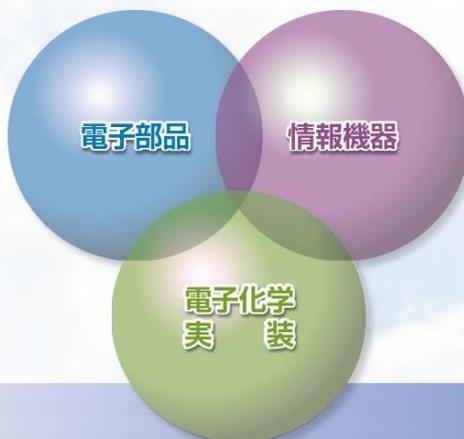
人的資本
連結従業員数
4,753名

社会・関係資本
ステークホルダーとの信頼関係

自然資本
原材料や、エネルギーなどの天然資源

事業領域

》》P.09-15



バリューチェーン

》》P.16

研究・開発 調達 生産 販売

事業活動を支える取り組み

》》P.17-22



Output

事業を通じた価値提供

Oneタムラ戦略

》》P.06

製品・技術・サービスの提供を通じて、

- ◆ **車載**
— 環境対応車の普及、安全快適な走行を支えます
- ◆ **パワーエレクトロニクス**
— 一次世代の省エネ社会を支えます
- ◆ **IoT・次世代通信**
— 近未来のネットワーク社会を支えます



持続可能な社会の実現

タムラグループの持続的な成長

第12次中期経営計画

》》P.06

Bilrite Tamura

The 12th Mid-term Plan 2019-2021 & 2024

GROWING ANEW

2024年(創業100周年)

営業利益率：**10%以上**

ROE：**10%以上**

関わりの深い社会課題

- 脱炭素社会の実現
- エネルギー資源の保全
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 自然災害への備え
- 超高齢社会への対応
- 地域社会との共存

本資料及び引き続き行われる質疑応答の回答の際の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所 経営管理本部

TEL : 03-3978-2031

